

官報

號外

明治三十五年三月九日

日曜日

印刷局

第十六回 衆議院議事速記録第二十八號

明治三十五年三月八日(土曜日)午後一時九分開議

議事日程 第二十七號 明治三十五年三月八日

午後一時開議

第一 明治三十二年度歳入歳出總決算

第二 明治三十二年度各特別會計歳入歳出決算

第三 軍人恩給法中改正法律案(政府提出)

第四 權限裁判法案(政府提出)

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第六 市町村會議員及市參事會議員ニ關スル法律案(本院提出兩院協議會成案)

第七 民法中改正法律案(安部并警根)

第八 鐵道列車災害豫防法案(菅野善右)

第九 銀行資本金制限ニ關スル建議案(西村真太郎)

第十 太麻頒布ニ關スル建議案(福島一)

第十一 皇上禮拜所設立ノ建議案(武市庫)

第十二 電報直配達區域擴張ニ關スル建議案(星野甚右衛門)

第十三 第二期鐵道豫定線路中比較線路調査ニ關スル建議案(武石敏)

○議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

本月十日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出タル旨桂内閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ

野間五造君ヨリ外交ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經タルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

外交ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年三月八日

提出者 野間 五造

贊成者 鳩山 和夫

外三十名

第一 外交質問

政府ハ「ギルモア」事件ニ就テ如何ナル所置ヲ採リ又タ採リツ、アルカヲ明カニ報告アラントヲ希望ス

官報號外

明治三十五年三月九日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第二十八號

議長ノ報告 質問ノ理由ニ付キ野間五造君ノ演說

五九三

第二 清國債金中個人損害ノ部分ニ就テ其分配ノ方針甚ダ曖昧ナリ此際取

調進行ノ模様ヲ明カニ報告アラントヲ希望ス

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨日貴族院ニ於キマシテ決議

ニナリマシタルコトハ、本院ニ關スル譯デアリマスカラ、議長ノ意見ヲ諸君

ニ申上ゲマス、チヨット速記録ニ依ッテ、決議案ヲ朗讀致シマス

明治三十五年三月五日衆議院ニ於テ同院議員根本某ノ爲シタル貴族院令改

正ニ關スル演說ハ貴族院ヲ侮辱シタルモノナリ本院ハ衆議院カ此ノ如キ演

說ヲ寛容シタルハ不當ナリト認メ茲ニ之ヲ決議ス

斯ウ云フ決議デアリマスガ、議長ハ貴衆兩院ハ互ニ敬禮ヲ以テ相對スルト同

時ニ、各自其權域ヲ恪守スベキモノニシテ、他院ノ言動ヲ監督スルノ權利ナ

キモノト信ジマス、斯ウ云フ考デアリマス

(「贊成ヤ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 野間五造君

(野間五造君演壇ニ登ル)

○野間五造君(二百五十一番) 私ハ今日外交ノコトニ附イテ、質問書ヲ提出

致シテ置キマシタカラ、會期切迫ノ際デアリマスガ、單簡ニ其趣旨ヲ述ベ

テ置カウト云フ考デアリマス、此外交ノ質問ト云フハ、一箇條カラ成立ッテ

居ルノデス、其第一ト云フノハ、近頃外交問題ト爲リ居ルギルモア事件ニ

附イテ、政府ハ現在ドウ云フ處置ヲ執ッテ居ラウカ、又過去ニ於テ如

何ナル處分ヲシタカ、其經過ト且ツ將來ニ於テノ措置ニ就イテ、政府ノ意見ヲ

開イテ置キタイ積リデス、言換ヘレバ此ギルモア事件ニ對スル顛末ヲ明ニ

シテ、實ヒタイト云フノガ、第一ノ質問デゴザイマス、第二ハ清國事件ニ附

キマシテ、我國ガ取ル債金ノ一部分ヲ、個人ノ賠償ニ充テ、アルノデアル、

ソレガ二百餘萬圓ト云フコトデ、諸君モ既ニ御承知デゴザイマセウ、此個人

ノ賠償ニ附イテ、ドウ云フ方針ヲ以テ分配サレラウカ、既ニ半年一年

ヲ經過シタ今日ニ至ッテ、未ダ顯レテ居ラヌカラ、是ヲバ議會ニ報告シテ貫

ヒタイト云フ、此二箇條ガ質問ノ趣旨デゴザイマス、簡短ニ其理由ヲチヨッ

ト申上ゲテ置カウト思ヒマス、此ギルモア事件ト申シマスルモノハ、皆サ

ン御承知デアリマセウガ、英吉利ノ紳士ギルモア氏ガ、橫濱デ何カノ間違

ヒカラ吾等勤者ヲ打ッタト云フタメニ、毆打創傷罪ニ依ッテ、求刑セラレタ

ト云フコトガ起リデアッテ、其以來此事件ガ纏レテ參リマシテ、諸君モ御承

知ノ通、近キ「ルートル」ノ電報ニモ出テ居リマスル通、英吉利ノ外務大臣

ランスダウン卿ガ、上院ニ於テ此儀ニ就イテ演說ヲサレタノデアル、其說ニ

曰フ日本ニ於テ我臣民——我臣民ト云フハ、英吉利臣民タル所ノギルモ

アীগ不正ナル手段ニ依ッテ、苦痛トサウシテ損害ヲ受ケタノデアル、是ニ

對シテ日本政府ニ向ッテ、英吉利政府ガ十分ノ要償ヲスルコトヲ、此ギルモ

アイト云フ個人ニ許シタ、又シテモ差支ナイト云フコトヲ申送ッタト云フコ

トガアルノデアル、全體今日ハ日英同盟ノ成ツタ曉デアッテ斯様ナ僅ナコトノ
タメニ、兩國臣民ノ感情ヲ害スルト云フコトハ、頗ル宜シクナイコトデア
ト、自分等ハ信ジテ居リマス、諸君モ必ズ現在兄弟國ノ姿デアアル英吉利ト日
本政府トノ間ニ於テ、僅カナ一個人ノ訴訟問題ノタメニ、態外務大臣ガ上
院ニ於テ演說ヲサレト云フガ如キ、事件ニ立至ラシメタト云フコトヲ悲マ
レルコトデアラウト思フ、是ハ多少我政府ノ失體デアアルコト、私ハ考ヘテ居
ルノデゴザイマス、併ナガラ是モ條約改正以後ニ於キマシテハ、日本ノ法權ハ
獨立致シテ居リマスカラ、裁判所ハ法律ニ依ッテ、十分ノ措置ヲ施サナケ
バナラヌ、其結果所謂執法ノ手心上ニ於テ、多少感情ノ行違ヒカラ、斯様
ナコトニナツタデアラウケレドモ、世界ノ表面ニ於テ、斯様ナ事件ガ長ラ
ク引續イテ居リテ、日英ノ間ニ快ラヌ感情ガ蟻テ居ルト云フコトハ、兩國
政府ノ一種ノ恥辱ヲ意味スルコトデアラウト考ヘマスカラ、ドウカ早ク我政
府ニ於テモ此事ヲ片付ケテ、日本ノ法權ヲ何處マデモ伸張スルト同時ニ、
事務局ヲ平和ニ結バレンコトヲ、私ハ希望スルノデアリマスガ、ウレニ就イテ
現在ノ模様ハ如何デアアルコト云フコトヲ、議會ニ報告シ、政府ハ民心ヲ安
ゼシムルノ義務ガアルト思ヒマス、因テ私ハ之ヲ第一義ノ質問ニ置キマシテ
ウレカラ第二問ハ清國債金ヲ取リマス中カラ、其二百餘萬圓ヲ日本商人ノ個
人ノ要償トシテ受ケテ居リマス、是ハ外務省ニ於テ如何ナル方針デ、御分配
ニナルカ、自分等ハ豫算委員會ニ於キマシテ、屢當局者ニ質問ヲシマシタ
ガ、屢要領ヲ得ザル答辯ヲ辱クシタル次第デアリマス、然ルニ吾々ガ近頃ニ
ナツテ聞ク所ニ據レバ、此問題ニ對シテハ、宜ラザル風説ヲ耳ニシテ居ルノ
デアリマスカラ、私ハ會期迫シタル今日、此質問書ヲ提出シテ、明日明カ
ニ外務當局者カラ、御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、全ク日本ノ此債金ガ
二百餘萬圓ト云フ高ガ、定ツテ居ルノデアリマスカラ、此範圍内ニ於テ、誰
ニ幾許ヤル、誰ニ幾許ヤルト云フコトヲバ、外務省ガ取調ベテ、是ニ對シテ
分ケ前ノ額ヲ定メ、都合ニナツテ居リマスガ、之ヲ若シ或ハ甲ニ厚ク、乙
ニ薄ク、或ハ丙ニ厚クシテ、丁ニ薄クト云フ手心ヲ次テヤラレタ以上
ハ、實ニ由々シキ東洋交易ノ經濟上ニ不安ヲ與ヘルノデアアル、東洋ノ
亞細亞ノ沿岸ニ日本人ガ、出稼シ商業ヲシテ居ル者ヲシテ、安心セシ
メント欲スルナラバ、此際僅カノ問題デアアルガ、此債金ノ分配額ト云
フモノヲ、政府ハ十分ナル注意ヲ以テ、慎重ナル取調ノ結果ニ依ッテ、之
ヲ分配シナケレバナラヌノデアアル、若シ之ヲ誤ツテ、外務省ニ對シテ商人
共ガ不正ナ運動ヲナシタ結果、多少ノ片手落ガアルト假定シタナラバ、
今後日本ノ商人ハ、晏然ト支那沿岸或ハ朝鮮沿岸ニ對シテ、日本ノ資本
ヲ下シ、日本ノ勞働ヲ盡シテ、商業ナリ工業ナリヲ營ムコトガ、出來ナク
ナツテ來ルデアラウト考ヘル、何トナレバ若モ朝鮮ナリ支那ナリニ於テ暴
徒ガ起ツテ、一朝己ノ持ツテ居ル所ノ資産ヲ損害セラレタ場合ニ於テ、日本政
府ガ之ニ依リテ即チ損害要償トシテ、支那政府ナリ朝鮮政府ナリカラ取ルニ
シテモ、其後之ヲ分配シテ與レルトキニ、甚ダ妙ナ運動ノ結果ニ依ッテ、厚薄
ガ出來ルト云フコトニナツテ來タトキハ、吾々ガ安心ヲシテ資本ヲ支那ニ下
シ、朝鮮ニ下スコトガ出來ナクナリマスカラ、是ハ誠ニ大切ナ問題デアラウ
ト思ヒマスガ、幸ニシテ外務省ハ、未ダ此事ニ附イテ發表致シテ居リマセヌ

カラ、發表スル前ニ、餘程慎重ニ取調ヲシテ與レナケレバナラヌト考ヘル
ノデアアル、現ニ斯様ナ風説ガアルノデアリマス、私ハ名ヲ指スノハ憚リマス
カラ申シマセヌガ、某大會社ガ外務當局者ノ某ト共ニ結托ヲシテ、サウシテ
債金ノ中八十餘萬圓ト云フモノヲ、殆ド既定ト云フガ如ク決定メシマウテ、
此大會社ガ此某外交官ト結托ヲシタ結果、其外交官ガ官ヲ免ゼラレテ、サウ
シテ某大會社ノ支那ノ某港ノ支店長ニシタト云フ事實ガアリマス、是ハ一種
ノ風説デ、事實ハサウデナカッタカハ知レマセヌガ、其外交官ガ某大會社ノ
支配人ト爲ツテ、長江ノ一部分ノ支店長ノ役ヲシテ居ルト云フコトハ、事實差
違ガアリマセヌ、斯様ナコトガアツテ、サウシテ此様ナ事柄ノタメニ、三十萬
圓ノ金ヲ取ツテ宜イ所ヘ持ツテ往ツテ、八十萬圓カラノ金ヲ與ヘタト云フヤウナ
結果ヲ生ジタナラバ、アトノ運動ノ鈍カッタ本當ノ商人ト云フ者ハ、非常ナ迷
惑ヲ感ジナケレバナラヌト云フ結果ニ陷ル、其他ニ太刀川商店ト云ヒ、イロ
イロノ會社ガイロノノ申出ヲシテ居ル者ガ、百萬圓損ガアルト云フコトヲ申出
シテ、最初領事館ニ出デ、領事ノ取扱デ本省ニ持ツテ來テ居ルガ、是ガ一々申
出ノ損害ガアルカナイカハ、餘程能ク嚴シク調べテ、公平ニ遣ラナケレバナ
ラナイ、私ガ斯様ニ申シマスルト云フコト、日本ノ損害金ハ各自ノ間ニテ、多
少ハ我慢モシナケレバナラヌカト、斯ウ云フヤウナ疑モアリマスガ、決シテサ
ウデナイ、取り得ラレルダケハ取ツテ差支ナイノデアアル、是ハ茲ニ申上ゲナク
テモ、御承知ノ通、此事件ハ各國ニ於テ屢例ノアルコトデアアル、英吉利ニ於テ
モ「ドン、パシビコ」事件ト云フ、有名ナ事件ガアツテ、ウレガタメニ英國ノ内閣
ガ二三度更ツタト云フヤウナ、有名ナ事件ガアルガ、是ハ僅カ十五磅ノ椅子一
ツヲ毀サレタ賠償トシテ、希臘ニ於テ英吉利人ノ其籍猶太人ガ同國政府ニ
要償シ、英吉利政府保護ノ下ニ千五百圓ノ磅ヲ取ツテ居ル、十五圓ノ椅子一ツ
壞サレテ、一千五百圓取ツタト云フコトハ、人道ノ上カラ言フト、誠ニ宜シ
クナイコトデ、帝國政府ハ斯様ナ不正ナコトハ餘リシナイ答デアアル、歴史ノ上
ニモナケレバ、將來モシナイコト、考ヘルガ、併ナガラ取り得ラレル相當ノ金
ハ、幾ラ高ク取ツテモ差支ナイ、故ニ今日日本ノ商人ガ種々損害ヲ申出ス金額ニ
對シテハ、政府ハ相當ニ支那政府カラ取ツテ差支ナイガ、今日ハ最早手後レニ
ナツテ居ル、如何トナレバ、高ガ二百餘萬圓ト額ガ極ツテ居リマス、其先キハ
モウ一步モ出ルコトハ出來ナイノデアリマス、ウレデアリマスカラ、今日カ
ラハモウ澤山ノ申出ヲシタ所ガ、仕方ガナイ、高ガ定マツテ居ルカラ、日本政府
ハ支那政府カラ、澤山ノ債金ヲ取ルコトハ出來ヌカラ、二百餘萬圓ノ範圍内
ニ於テ、分配額ヲ定メナケレバナラヌ、然ラバ茲ニ率ト云フモノガ起ツテ來
ル、率ト云フモノガ起ツテ來ル以上ハ、此率ニ對シテ公平ノ分配ヲ定メテ遣
ラナケレバナラヌ、私ハ若シ當議會中ニ之ガ現レテ、當議會中ニ此分配ガ定
マツタナラバ、或ハ恐レ第二ノ分捕問題ト云ハル、如キ、一ノ波瀾ガ起リハシ
ナイカト云フ憂ガアリマシタ、併ナガラ議會ハ今日閉會ニ近ヅキマシタケレ
ドモ、未ダ此分配ハ定ツテ居リマセヌガ、若シ間違ウタ分配方ヲ遣レバ、次
ノ十七議會ニハ、非常ニ政府ニ向ツテ攻撃ノ矢ヲ放ツベキコトガ、現レハセ
ヌカト今日カラ憂ヘテ居ルカラ、現政府ニ對シテ豫メ一ノ忠告ヲ與ヘルノデ、
ドウカ轉バヌ先ノ杖トシテ、一言ヲ聞イテ貰ヒタイ、願ハクハ公平ナル處分ヲ

致シテ吾々臣民ガ亞細亞沿岸ニ於テ、安全ニ、安寧ニ、商賣ノ出來ルヤウニ、
現政府ハ公平ニ、慎重ナル態度ヲ以テ、分配方法ヲ定メラレシコトヲ希望致
シマス、此二箇條ノ質問ニ對シテ、今日カ或ハ明日カニ答辯アラシコトヲ希
望致シマス

○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御注意致シテ置キマスガ、會期モ今明日ニナリ
マシタデアリマス、特別委員ノ審査ノ模様ヲ見マスルト、マダ法律案建議案
ノ審査ヲ、特別委員會ニ於テ議了セラレナイモノガアリマス、ドウゾ特別委
員ニ望ミテラレタル諸君ハ、成ルベク御勉強ニナツテ、此會期中ニ、議了セラル、
コトヲ希望致シマス

○渡邊猶人君(八番) 唯今ヨリ狩獵法ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス
○議長(片岡健吉君) 唯今渡邊猶人君ヨリ、狩獵法中改正案ノ委員會ヲ開キ
タイト云フ申出デアリマスガ、許可シテ差支アリマセヌカ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス

○鈴木萬次郎君(二十六番) 諸君、私ハ今日茲ニ質問書ヲ提出致シマシテ、
其質問ノ主意ヲ述ベヤウト思ヒマス、大約一國ヲ統治致シマスル上ニ於テ、
又百般政務ノ上ニ於キマシテ、之ヲ輕シト爲シ、彼ヲ重シト爲シ、或ハ甲ヲ
輕重ニ致シ、乙ヲ輕忽ニ致シテ宜イト云フヤウナコトノアルベキ筈ハ、固ヨ
リゴザイマセヌケレドモ、時ニ緩急前後ヲ別チ、事ニ輕重本末ヲ違ヘヌト云
フコトハ、尙モ事ニ局ニ當リマスル者ノ、一大要談デアツテ、又一大覺悟デ
アラネバナラヌト思ヒマス、我國今日ノ經營、之ヲ内ニ致シマシタナラバ、
又之ヲ外ニ致シマシタナラバ、甚ダ多カラウト思ヒマス、之ヲ外ニ致シマシ
タナラバ、貿易、移民、航海ニ、協商ニ、同盟ニ、或ハ外資輸入ニ、國運
ノ伸張ニ、又之ヲ内ニ致シマシタナラバ、製造、商業、農業、鑛業、或ハ軍
事、經濟、教育、衛生、林政、治水、土木、警察、又ハ國力ノ充實、而シテ
此ノ補助、若ハ獎勵、若クハ改良、又ハ廢止、斯様ニ事々物々數ヘ來リマシ
タナラバ、日モ尙足ラヌコトデアリマセウト思ヒマス、從ツテ一利ヲ興セバ
一害亞イデ臻リ、又一害ヲ防グバ二害從ツテ臻ルト云フ有様デゴザイマシテ、
法律ヲ作ルコト雨ノ如ク、然シテ犯ス者潛ル者ハ益、増加スルト云フ有様デ
ハ、ゴザイマスマイカ、道德ヲ講ズル者ハ益、増加スルト云フ有様デハ、
イト云フ有様デハゴザイマスマイカ、勤儉節約ノ聲ハ、隨分大デハゴザイマ
スケレドモ、奢侈資澤ハ益、多クナル有様デハゴザイマスマイカ、然シテ目
ニ觸レ耳ニ入リマス所ノコトハ、浮華、輕佻、誑詐、陰謀、眞ニ思フベキ傷
ムベキコトガ、多ウゴザイマシテ、眞實トカ、誠意トカ、敬フベキ、貴ブベ
キコトハ、甚ダ少ウゴザイマシテ、都トナク、鄙トナク、官トナク、民トナク、
紛々擾々、殆ド其歸著スル所ヲ知ラナイノガ、我國今日ノ狀況ト思ヒマ
ス(ソノナコトハナイト呼フ者アリ)斯ノ如クシテ國運ノ伸張ヲ期スルコト
ガ出來マセウカ、國力ノ充實ヲ増スコトガ出來マセウカ、私ハ甚ダ感ナキコ
ト能ハヌノデゴザイマス(簡單々々ノ聲スル)是ニ於テ私ハ思フ、此紛々擾
擾ノ間ニ立ツテ、最モ緊急デアツテ、然シテ最モ力ヲ效サナケレバナラヌコト
ハ、何デアアルカト申シマシタナラバ、即チ地方政治ノ刷新、地方ノ實力養成、

即チ民業ノ發達進步ヲ圖ルニアラウト思フ、果シテ然リト致シマスナラバ、此
嚴正ナル監督者、忠實ナル擁護者、又善良ナル誘導者タル地方官、就中縣知
事タルモノガ、其人ヲ得ルト云フコトガ、最モ急務中ノ急務デアラウト思フ、
然ルニ我國今日ノ地方官中、三府四十三縣中ノ縣知事中、果シテ其人ヲ得テ
居ルヤ否ヤ、如何デゴザイマセウ、今ハ過去ヲ追テナリマシタガ、彼ノ楠
木氏ノ新網ニ於ケル、安場氏ノ熊本ニ於ケル、三島氏ノ福島、栃木ニ於ケル
松田、高崎氏ノ東京ニ於ケル、其他柴原、千阪、船越、是等諸氏ノ知事トナ
タ、當時ニアツテハ、免二角ニ其多クハ當代ノ人材デアツタデアラウト思フ、其
抱負其識其心術ハ、必ズ大ニ之ヲ敬スベク尊ブベキモノガアツタト思フ、勿
論今日ノ知事中ニアツテモ、或ハ服部兵庫ノ如キ、大森京都ノ如キ、河島滋
賀ノ如キ、江本廣島ノ如キ、奈良原沖繩ノ如キ、其他宗像、川路、深野、柏
田、千頭ノ如キ等ハ、優ニ地方官トシテ、其中デモ適任者デアラウト思フガ、
固ヨリ私ノ寡聞淺見ナル、其外ニモ適任ノ人ガ澤山ゴザイマセウト思ヒマス
ガ、併ナガラ、之ト同時ニ、不適任者モ少カラヌト思フ、諸君、地方ニ往テ御覽
ナサイ、縣會議員參事會員ニ向ツテ、徒ラニ機嫌ヲ取リ甘心ヲ求メ、心中ニハ不
利デアルト信シテ居ル土木事業ニ對シテモ、斷然之ヲ拒絕スルト云フ勇氣ナ
ク、唯々諸君ノ信任ノ決議ヲ恐レ、コト虎ノ如ク、而シテ其結果ハ縣費膨脹ト
爲リ、地方費ノ濫出ト爲リ、終ニハ縣民ノ負擔ノ過大ト爲ルト云フ如キ有様ハ
ナイデゴザイマセウカ、又中央ニ出マス、先ツ何事モ差措イテ、内閣大臣、主
務大臣ノ御機嫌ヲ窺ハナケレバナラヌ、其一顰一笑ニ注目シナケレバナラヌ、
戰々兢兢恰モ放蕩息子ガ嚴父ニ對スル如キモノデアアル、子供ガ雷霆ヲ恐ル、
如キ有様デアアル不幸ニシテ霹靂一聲轉任貶黜ノ命ガゴザイマスレバ、赴任以
來日尙ホ淺クシテ、地方ノ郡村ノ名前ダモ未ダ知ラザル中ニ、倍テ送別會ノ入
費デアアル、歡迎會ノ入費デアアル、ヤレ旅費デアアル、寄附デアアルト申シテ、到底
入ルニ委セテ、出ル金ハ足ラヌト云フ有様ヲシテ居ルデハゴザイマセヌカ、斯
様ナ有様デアアルカラ、自然地方官ナルモノハ、店借根性トナリ、間ニ合セ主
義トナリ、平凡ノ頭ハ益、進化シテ頭平凡以下ト下落スル有様デアアリマセ
ヌカ、縣事業ノ得失、縣民ノ利益ヲ講究致シテ、地方百年ノ大計ドコロデハ
ナイ、二三年ノ大計スラ之ヲ立テルノ餘地ナク、終歲營々屬僚ヲ對手ニ、法
律規則ノ研究、縣會提出ノ議案ノ編成等ニ、殆ド全腦漿ヲ絞リ盡シテ、唯僅ニ
縣廳ノ屬僚ヲ叱咤シテ、懇親會場ニ不平ヲ漏シテ、平素ノ煩悶ヲ遺ルト云フ
位ノコトデアアル、而シテ偶々屬僚ヲ從ヘテ出張ヲ致スト、管内ノ民情ヲ觀察
シ、眞實ニ之ヲ視ルト云フノデモナク、衛生教育土木其他ノコトヲ、現實ニ
觀察スルト云フノデモナイ、多クハ學校ノ開業式ニアラザレバ、地方ノ共進
會ノ褒賞授與式ニ臨ンデ、參事官ノ草シタル祝文ヲ恭シク朗讀シ終レバ、乃
公ノ能事終レリ(笑聲起ル)斯ノ如キ有様、地方ノ土木ナリ、衛生ナリ、見ル
ベキモノハナイノデ、我東京府下デモ、二十五年ノ今日ニ至ルマデ、永イ
間地ノ下ニ莫大ノ金ヲ陷込ミ盡シテ、尙ホ今日割石ヲ積マナケレバナラヌト
云フコトヲ、今日遣ッテ居ルデハナイカ、平々凡々ナル府縣知事ニシテ、而モ
苟合儉安其日暮シノ有様スルノ如レト致シマシタナラバ、實力ノ養成國力ノ
養成ト云フコトハ、容易ニ出來マイト思フ、想ヒ起シマス、彼ノ故新縣知
事ノ籠手田安定氏ハ、同地方ノ日ニ浮薄ニ流レ、或ハ奢侈ニ陷ルト云フコト

官報號外 明治三十五年三月九日 衆議院議事速記第二十八號 質問ノ理由ニ付キ鈴木萬次郎君ノ演說

ヲ歎セラレテ、身自ラ草鞋ヲ穿ッテ握飯ヲ携ヘテ、握飯腰辨當ト云フ有様デ、管内ヲ巡回シタト云フコトハ、諸君御承知デアラウト思フ、免ニ角誠實ニ、此有様ヲ矯正セント企テラレタモノデアラウト思フ、又前ノ群馬縣ノ知事石坂昌孝氏ハ、碓氷地方ノ赤痢ノ流行ニ際シ、草鞋ヲ穿チテ一々病人ヲ見舞ハレタト云フコトモ、諸君御承知デアラウト思フ、今ノ地方官縣知事ガ、果シテ此勇氣、此誠意、此信實アルデゴザイマセウカ、人民ノ利害休戚ヲ見ルコト、自是アルガ如クニ致シテ居ル所ノモノハ、幾人アルデゴザイマセウカ、私近頃古イモノヲ温メシテ、但來物茂卿ノ「政談」ナルモノヲ見マスト、矢張當時ニ於キマシテモ、斯ノ如キヤウノ多少アツタモノデアラウト思ヒマス（モウ澤山ダ）ト呼フ者アリ）イクラ諸君ガ簡單ト云ヒマシテモ、ナカ／＼簡短ニハ止メナイ、其書ニ斯様ナコトガ言ッテアル「諸老中諸物頭諸奉行、代官ハ皆治ノ役人ナリ下ヨリ申シ出ルコト斗ヲ捌キ取次ヲスル役ニハ非ラズ又我支配下組下ニ惡人多ク出テ風俗モ惡キハ皆其頭支配ノ咎也地頭モ年貢ヲ取ル斗ノ役ニハ非ス其知行所ヲ治ル役也治ト云フハ下ノ非法ヲ咎メタ、ス斗ノ役ニ非ス下ヲ教ヘ立テ仕込ミテ惡人モ出ス風俗モ能ナルヤウニスルコト也云々」又曰ク「我支配下組中ハ上ヨリ御預ケ置カル、コトナレバ末迄一人モ見放サレヌモノ也ト思ヘハコリテ我苦ニシ世話スルコト也云々」ト云フコトヲ申シマス、而シテ當時ノ所司代板倉周防守ノコトヲ舉ゲテ、確メテ置キマシタ、思フニ昔ノ此奉行地頭ハ、即チ今ノ縣知事郡長デアラウ、サスレバ縣知事郡長ハ即チ今日ノ是等ノ役人ハ、人民カラ出願スルコトバカリヲ取次スル役人デハナイ、國稅縣稅ヲ取立テバカリノ役人デハナイ、段々地方ノ風俗ノ惡ルグナルノモ、皆郡長無論知事ノ咎アル、マタ我縣管内ハ御上ヨリ預ケ置カル、コトナレハ、宋々マテ一人モ見放サレヌモノ也我苦ニシテ世話スルコト也」昔デスヲ斯ノ如ク、今日ハ尙更ノコトデアラウト思ヒマス、若シ彼ノ溝部栃木縣知事ノ如キ、此心ノ十分ノ一ダモゴザイマシタナラバ、ヨモヤ十數萬ノ人民ガ饑饉ニ泣キ、病ニ泣キ尙ホ今日警部巡查ヲシテ、之ヲ振ハシムルコト、殆ド罪人ノ如ク、牛馬ノ如クスル如キ、慘狀ハナカッタラウト思ヒマス、私ノ聞ク所ヲ以テスレバ、同縣知事ハ目下某銀行ニ三萬圓ノ預金ヲ爲シテ居ルト云フコトデアアル（羨ム勿レ）ト呼フ者アリ）而シテ此三萬圓ノ預金ガ、五萬圓ニナツタラバ、最早縣知事杯ハシテ居ラヌト公言シテ居ルサウデアアル（夫子ハ如何）ト呼フ者アリ）ニ依ッテ之ヲ觀レバ氏ハ確ニ懷ヲ愛スルノ情、最モ切ナル人デアアル、此懷ヲ愛スルノ情ヲ以テ、其半ヲ割イテ被害地人民ニ及シタナラバ、ヨモヤ今日ノ慘狀ハナカッタラウト思ヒマス、ソレハ措キマシテ、今日ノ如ク地方官中、無能ノ士ノ少カラザルニ至リマシタルモノハ、大ニ原因ノアルコトデアラウト思ヒマス、否ナ私ヲシテ之ヲ言ハシムレバ、寧可有能ノ士ヲシテ、無能ヲラザルヲ得ザルニ至ラシメタモノデアラウト思ヒマス、有能ノ士ヲシテ無能ヲラシムルニ至ラシタ所ノモハ、中央政府之ガ原因ヲ爲シタモノデアラウト思ヒマス、其故如何トナレバ、明治二十五年壬辰ノ年、總選舉ニ際シテ時ノ松方内閣ガ、地方官ニ内命ヲ下シテ、大ニ選舉ニ干渉ヲ致サシメタ、即チ内閣ノ政策政治ノ方針ノ下ニ、地方官ヲ使役致シタ（昔ノコトハヨセ）ト呼フ者アリ）此以前ニ在リマシテハ、專心一意縣ノ事業、地方實力ノ進歩發達ニ向ッテ、獨立的地位ニ

立ッテ、專ラ地方ノ成績ヲ舉ゲンコトヲ熱心畫策從事致シマシタ所ノモノハ、内閣ノ御覺宜シカラズ、而シテ大ニ民間黨ヲ苦シメ、又ハ民間黨ヲ苦シメ、致ス所ノモノハ、大ニ内閣ニ賞セラル、ト云フ有様デアツタ、自然ノ結果トシテ地方ノ政務ニ冷淡ニナリ、而シテ政黨ノ事情ニ通ジ、内閣ノ意志ニ副ハンコトヲ努メマスルノ現象ヲ來シタ、中ニハ大ニ内閣ノ意ヲ迎ヘ、一方ノ黨派ヲ抑壓スルト云フ有様ニ立至リマシタ、シマシテ一朝其内閣ガ更リマスルト、其反動ト致シテ、不信任決議ト爲リ、排斥運動ト爲リ、從テ交際ト爲リ、御機嫌取ト爲リ、平凡ト爲リ、無能ト爲リ、終ニハ結托ト爲リ、縣治ノ紊亂ト爲リ、到頭平凡以下ニ下落スルニ至ッデアラウト思ヒマス、故ニ私ハ思フ、今日ノ地方官中人物ノ乏シイノデハナイ、却テ人物ヲシテ人物タルヲ得セシメヌノデアアル、語ヲ換ヘテ之ヲ申シマシタナラバ、今日ノ地方官ハ、適當ノ手腕ヲ、誠實ニ、眞面目ニ、揮フコトガ出來ナイ有様ニナツテ居ルデアアル、眞面目ニ眞實ニ、地方ノ事業ニ熱心致シマスルト、直チニ非トカ免トカ云フ字ヲ冠ラナケレバナラヌト云フ有様ニナツテ居ルデアアル、私近頃ノ出版ニ係リマス或書ニ依ッテ、獨逸或ハ佛蘭西等ノ地方政治ノ有様ヲ見マシテ、殊ニ縣知事地方官ノ待遇ヲ見マシテ、心密ニ羨ムニ堪ヘヌ思フ致シマシタ、佛蘭西ハ御承知ノ通、縣ノ等級ヲ三等ニ區別シテ、地方官ハ皆永ク務メルト云フコトヲ、獎勵致シマスル制度ヲ取ッテ居リマス、凡ソ縣知事ニシテ、五箇年同一地方ニ勤續致シタル者ハ、例ハバ縣ノ等級ハ低クアツテモ、上級俸ヲ與ヘル、又同一地方ニゴザイマセヌ場合ニハ、七年間地方官ト爲ッテ居リマシテモ、昇給ヲ致サヌト云フコトニナツテ居リマス、又（簡單）ト呼フ者アリ）同一ノ地方ニ於テ永ク勤メマシタル所ノ勞ガアリ、且ツ成績拔群ノ者ニハ、其退職ノ後ト雖モ、尙ホ其地方ノ名譽知事ト云フ尊號ヲ與ヘラレマシテ、大ニ之ヲ尊敬シ、優遇ヲ致スト云フコトニナツテ居リマス、其他郡長ノ如キモ、參事員ノ如キモ、矢張此方針ニ據ッテ居リマス、ソレ故ニヤ、佛蘭西中央ノ政界ハ、隨分諸君ノ御承知ノ通、常ニ紛々擾々ト云フ有様デゴザイマスルニモ拘ラズ、地方ニ至リマシテハ、誠ニ整々肅々トシテ、能ク秩序ヲ保ッテ居リマシテ、實力ノ進歩發達、駭々トシテ殆ト歇ムトキナキ有様デアアルト云フコトハ、諸君ガ御承知デアラウト思フ、又獨逸ニ至リマシテハ、尙更サウデアアル、地方制度ノ整備、商工業ノ發達、國力ノ膨大、實ニ吾々想像ノ外ニゴザイマスル、兩三日デゴザイマシタカ、此處へ屢々政府委員トシテ出ラル、所ノ、目賀田君ノ話ヲ聽キマスルニ、我邦ノ骨牌歌留多、アレヲスラ此頃獨逸ノ商人ガ、本國ニ於テカ何レニ於テカ、之ヲ拵ヘテ日本ニ輸入シテ居ルト云フ話デアアル、此ノ如ク獨逸民、獨逸製造工業總テノ點ニ於テ盛ナル進取ノ氣力ニ富ンデ居ルト云フコトハ、實ニ驚クベキデアアル、而シテ其地方官ノ永勤、永ク勤メルト云フコトノ方針ヲ取ッテ居リマスルト云フコトハ、獨逸ニハ地方官二十年祭、二十年勤メ續イタト云フ祭ガアル、其一例ヲ見マシテモ、矢張地方官ヲシテ、永ク其地方ニ續ケ勤メシムルト云フコトハ、是レ亦知ルコトガ出來マスル（オイ冗談ヂヤナイ、好イ加減ニシ給ヘ）ト呼フ者アリ）先般現内閣ハ地方官ノ交送ヲセラレタ、地方官ノ交送甚ダ宜シイ、併ナガラ其交送ノ方針、其交送ノ趣旨、果シテ何レノ邊ニ在ルカ、吾々ハ之ヲ窺フコトガ出來ズ、知ルコトガ出來ナイ

ノデアル、吾々ノ目ヲ以テ之ヲ見レバ、甚ダ無意味無要領デアルト云フ感ナ
キ能ハヌノデゴザイマス、何故デアルト申シマシタナラバ、失政ヤ秕政デア
ル者ヲ免ズルト云フナラバ、秕政ノ最モ大ナル、最モ著シキ述ノアリマスル
地方官ハ、罷メナケレバナラヌノデアル、又政黨出身ノ知事ヲ罷メルト云フ
ノナラバ、是レ亦政黨出身ノ知事中、秕政ノ聲ノ大ナル者ヨリ、先ヅ之ヲ罷メ
ナケレバナラヌノデアル、一昨年佐賀縣ニ於テ、非常ナル選舉干渉ヲシテ、秕
政失政ト謂ハシヨリハ、寧ロ一縣ヲ攪亂シタ、法律ヲ蹂躪シタ、亂暴狼藉ヲ
働イタト云フ關知事ハ、ナゼ之ヲ政府ガ罷メヌノデアル、又静岡ニ於テ縣治
ヲ壞シ、官吏ト名譽職ト相結托シテ、不正ノ行動ヲ爲シテ、一大疑獄ヲ惹
起サシメタル所ノ志波知事ハ、何故之ヲ罷メナイノデアル、若シ政黨出身
者ヲ罷メルトスレバ、先ヅ政黨出身者ニシテ、其秕政ノ聲ノ大ナル此知事ヲ罷
メナケレバナラヌノデアラウ、然ルニ是ヲ之ヲ罷メズシテ、而モ却テ政黨出
身ノ知事トシテハ、秕難ノ聲ノ少キ大阪府知事菊池侃二氏ヲ罷メ、私共ノ見
マスル所ニ依ッテスレバ、政黨出身者寧ロ地方官中ニ在ッテ、先ヅ菊池氏ノ如
キハ、比較的缺點ノ少イ人デアッテ、地方官タルノ手腕ハ、確ニ持ッテ居ル人
デアルト信ズルノデアル、然ルニ之ヲ罷メテ、彼ヲ罷メタ其意味ガ分ラヌノ
デアル、政府ノ地方官交迭、任免黜陟ノ方針、甚ダ無意義千萬デアル、況ヤ
或ル縣地ニ於テ、失政非行明々瞭々デアッテ、而モ手腕ノナイト云フコトヲ、政
府モ確ニ之ヲ認メテ居ル所ノ知事ヲ、甲ノ縣カラ持テ來テ、乙ノ縣ニ移シ、
又丙ノ縣ニ移シ、何ノ眞似ヲシテ居ルノデアル、子供ガ御膳事ヲスルナラ
バ、卒知ラズ、右ヘ置イテイカヌモノナラバ左ヘ置イテモイカヌノデアル、
地方ハ官吏ノ練習所ニアラズ、今日マデノ有様ヲ見ルト、役人ヲ養成スル、役
人ノ訓練ヲ地方人民ノ頭ノ上ニサセル如キ有様デアアル、右ニ置イテイカヌ者
ハ、左ニ置イテモイカヌノデアル、アチヲニ列ベコチヲニ列ベ、何ノ益スル
處ガアル、デス様ナコトハ獨リ現政府ガ之ヲヤルト云フバカリデハナイ、從
來政府ガ之ヲヤリ來ッテ有様デアアルガ、斯様ナコトハ實ニ馬鹿氣千萬ノコトデ
アル、何レノ内閣ヲ問ハズ、將來誰ガ内閣ニ立タウガ、地方ノ實力ノ發達進
歩ヲ圖ルハ、即チ一國ノ力ヲ充實スル本デアアル、根本デアアルト云フコトヲ考
ヘタナラバ、役ニ立タヌ、寧ロ疵ノ多イ者ヲ、此地方人民ノ頭ニ持ッテ來テ、
之ガ監督者デアアル、之ガ誘導者デアアル、之ガ保護者デアアルトセラレテ、タマ
ルモノデヤアナイ、私ハ國家ノタメニ、或ハ黨派ノ觀念等ヲ持チマシタナラ
バ、短簡トカ無用ナコトヲ謂フトカ云フ考ハ、諸君ガ起スカモ知レマセヌ
ガ、是ダケハ私ハ國家ノタメニ、深ク斯様ナコトハ杜絶致シタイノデアアル、
過日政府ハ注意セラレ、所アッテ、地方ニ對シテ訓令ヲセラレタ、地方政治ノ
刷新ト云フコトニ附イテ、意ヲ用ヒラレタヤウデゴザイマス、其事固ヨリ宜
シイ、併ナガラ其人存スレバ其政事舉リ、其人亡ブレバ其政事止ム——グラ
イナコトハ、昔モ今モ誰デモ知ッテ居ルコトデアアル、百ノ訓令ヲ發シテモ、其人
ヲ得ザレバ何ノ效力モアラン、今日我國ニ於テ人材ハ甚ダ乏シイトハ言ハレ
ナイ、秕政ノ多イ、手腕ノナイ知事ノ如キハ、一方カラドシ、罷メルガ宜イ、
或ハ分限令ト云フモノガアッテ、之ヲ休職スルト云フト、三分ノ一宛ノ俸給ヲ
遣ラナケレバナラヌ、其豫算ガナイ、金ガナイ杯ト云フ、些々タルコトヲ以テ、
此一地方ノ利害休戚ニ大關係ヲ持ッ知事ヲ、役ニ立タナイケレドモ、マアヤッ

テ置クトハ何事デアアル、故ニ役ニ立タヌ、秕政ノアルモノハ、(トシ)宜シク
進デ之ヲ罷ムベシ、而シテ適才ヲ求ムル上ニ於テ、又之ヲ任命スル上ニ於テ、
最モ鄭重ニ、最モ慎重ニ、是ガ選擇ヲ致シ、其一旦地方ニ職ニ就カシムルニ
及ビマシテヤ、成ルベキダケ獨立不羈ノ地位ヲ保タシメテ、專心一意地方ノ
實力ノ發達ニ從事セシメテ、其成績ヲ舉グルコトヲ以テ、唯一ノ職責トサシ
テ、成ルベク永勤セシムルノ方針ヲ取リマシタナラバ、國力ノ充實、國運ノ伸
暢、得テ期スルコトガ出來ルデアラウト思フ、私ハ國家ノタメニサアラシコト
ヲ、切ニ望ム者デゴザイマス、是レ獨リ此政府ニ向ッテ望ムノデハナイ、
天下各地方ノ心アル所ノ士、漫ニ地方官ヲ以テ、自分ノ都合ニ宜シイ、宜シ
カラズ杯ト云フコトヲ以テ、濫ニ不信任決議ヲ致シ、排斥運動ヲ致スト云フガ
如キハ、國家ノタメニ止メテ貰ヒタイ、何レノ内閣ヲ問ハズ、何レノ地方タル
ト問ハズ、何レノ黨派タルト問ハズ、是ダケハ大ニ注意致シテ、自他共ニ
慎重ノ態度ヲ以テ、此事ニ對シマセヌケレバ、唯日英同盟ガ成ッタトカ、二等國
ニナッタトカ、進デ一等國ノ列ニ加ッタトカ云フ、空祝ヒニ悅ンデ居リマシテ、
國力ハ漸々衰亡致スト云フ、悲ムベキ否運ニ到著スルコトノ眞ガアラウト思
ヒマス、故ニ本員ハ茲ニ此意見ヲ述ベマシテ、即チ左ニ掲ゲマスル所ノ
第一 地方官ハ其地方ニ永勤セシムルノ方針ナルヤ又ハ甲ア常ニ轉移セ
シムルノ方針ナルヤ
第二 甲府縣ニ於テ失政アル地方官ヲ乙府縣ニ轉任シ乙縣ニ於テ稍々成績
アル者ヲ丙縣ニ轉任セシムルノ理由如何
第三 足尾銅毒事件ノ栃木群馬縣等ニ於ケル官吏名譽職收賄事件ノ静岡ニ
於ケル又選舉干渉事件ノ佐賀ニ於ケルカ如キ政府ハ之ヲ縣治上ノ失政ト
認メサルヤ
斯様ナ質問ヲ致シマシテ、併テ自分ノ希望、寧ロ彼ノクダラナイ法案ヲ出シ
テ、地方ノ土產トスル人デモ、最モ此事ハ大切ナルコト、思フ、簡短々々ノ
聲ハゴザイマシタケレドモ、默セントシテ默スルコトガ出來ナイタメニ、聊
カ質問ノ要領ヲ述ベ、且ツ希望ヲ述ブルコトスノ如シ
○議長(片岡健吉君) 早川龍介君
(早川龍介君演壇ニ登ル)
○早川龍介君(二百三十七番) 切迫ノ時期ニ至リマシテ、暫時ノ清聴ヲ瀆ス
ノハ、甚ダ痛心デゴザイマスガ、私ハ極ク簡短ニ質問ノ要領ヲ述ベテ置キマ
スル、私ノ質問ノ要領ハ、此外櫻田町ノ一席ハ、今後政府ガドウ云フ計畫ヲ
セラル、カト云フコトニ附イテノ質問デス、ソレハ御承知ノ此參謀本部ノ前、
司法省ノ西ニ當リマスル一席ノ地ハ、即チ振天府望下ノ地デゴザイマシテ、
平時ニ東京ハ平時デゴザイマシテモ、塵埃ノ多イ所デゴザイマスノニ、況
シテ此宮城ニ近キ南方ニ當リマスル地ニ、雜駁ナル建築杯ガ出來マシテ、自然
塵埃ニ加ヘテ煤煙等ガ、宮城ノ方ヘ參ルノハ、ヒドク畏多イコトデアアルト存
シマス、而シテ此土地ハ又宮城ヨリ眼下ニ見渡シマスル所デ、頗ル茲ニ錯雜
ナル建築ヲ爲シマスルノハ、大ニ風光ヲ妨ゲルコトデアラウト存シマス、唯
私ハ質問ニ併セテ、希望ヲ述ベマスレバ、此土地ハ宜シク宮城附屬ノ公園ニ
デモ相成リマスレバ、或ハ御承知ノ東京ハ、風光ニ甚ダ乏シイ地デアリマス
カラ、或ハ叙慮ヲ慰メルニモナリマセウカ、又ハ東京ノ此中央ノ土地ハ、一

ノ美觀ハ添ヘルコトニモ相成リマセウト存ジマスデ、詰リ政府ガドウ云フ此
地ニ對シテ計畫ガアリマス、現今ハ一向建物モ何モゴザイマセヌカラ、若シ
之ニ建築デモ出來ルト、後來大ニ遺憾ナコトモゴザイマス、存ジマスルデ、政
府ノ計畫ヲ承リマシタ上ハ、諸君ノ御贊同デモ得テ、建議デモ出シタイ考デ、
此政府ノ唯現行ノ計畫ヲ承テ置キタイト云フノデ、實ハ御承知ノ現時此司法
省杯モ、隨分南風ノトキニハ、煤煙ガ宮城ノ方ハ參ルヤウニ考ヘマス、或
ハ是等モ「ストーヴ」ノ用ニハ「コークス」デモ用ヒラレコトヲ、自分杯ハ希
望致シテ居ル、況シテ此附近ニ於キマシテ、種々ナル建築ガ起リマシテ、自
然「ストーヴ」ノ煤煙等ノ飛ビ散ジマスルヤウナコトハ、甚ダ自分ニ於テモ、畏
多キコトデアハアルマイカト考ヘマス、政府ノ大體ノ計畫ヲ承リマシタ模様デ、
又自分等ノ多少ノ考ヲ出サウ、唯簡短ニ是ダケノコトヲ、政府ニ聽クノデス、
敢テ政府カラ、此明答ヲ自分ハ急グト申スノデハゴザイマセヌ、宜シク御考
ヘ且御注意ニナリマシテ、御答辯アラントヲ、希望致スノデス
○議長(片岡健吉君) 日程ノ第一ノ議事ニ移リマス、明治三十二年度歳入歳
出總決算——瀧口歸一君

第一 明治三十二年度歳入歳出總決算
第二 明治三十二年度各特別會計歳入歳出決算

(瀧口歸一君演壇ニ登ル)

○瀧口歸一君(百四十五番) 明治三十二年度歳入歳出總決算及各特別會計歳
入歳出決算ノ報告ヲ致シマス、其前ニ當リマシテ、一應御手許ニ配付シテゴ
ザイマス、報告書ノ、訂正ヲ致シタイデアリマス、報告書ノ三十四項ノ全文
ハ誤リデゴザイマス、削除致シマシタ(鈴木總兵衛君「何項デス」ト呼フ)
報告書ノ三十四項ノ全文(鈴木總兵衛君「何項デス」ト呼フ)六頁ノ裏、ソレカ
ラ六十七項十二頁ノ裏、此六十七項ノ前項削除——二項ゴザイマス、後ハ
殘テ前項ハ削除スベキモノガ、誤テ茲ニ載ッタノデゴザイマス(鈴木總兵衛
君「六十何項デス」ト呼フ)六十七項十二頁ノ裏、前項ハ削除、後項ガ殘ル、三
十二年度ノ決算書ハ一月三十日ニ提出ニナリマシタ以後、引續イテ本會分
科會等ヲ屢、開キマシタ、其本決算ニ對シマシテ、會計検査院ノ検査報告書
ニ掲出致シマシタ、規則違背トスルモノハ、歳入ニテ二件、歳出ニテ百二十
件、官有物ノ部ニテ一件、特別會計ニテ二十七件、既往各年度検査未確定ニ
於テ五件、合計シテ百五十五件、其中本委員會ガ精査ヲ遂ゲマシタ所ニ據リ
マスレバ、其中批難ヲ與ヘベキモノニアラズト認メマシタモノガ、歳入經常
部第三款官業及官有物財產收入第六項官有物貸下料、此項デ一件、歳入臨時部
第一款第五項家畜拂下代、是デ一件、歳出經常部第十款雜給雜費、此目ニ以下
三十四件、各特別會計第一款臺灣總督府ノ支出ニ係ル電話料ト云フモノ、項
ニ以下六件、合計四十三件、是ダケハ批難ヲ與フベキモノニアラズト云フ決議
ヲ致シマシタ、其重ナルモノニ附キマシテ、條項ヲ逐ヒマシタモノモ甚ダ煩雜ニ
涉リマス、之ヲ省イテ大體ニ附イテ申シマスレバ、歳入臨時部第一款陸
軍所管家畜拂下代、此目ノ如キガ最モ分科會等ニ於キマシタモノ、ソレソレ質
問議論モゴザイマシタ、會計検査院ハ是ニ批難ヲ加ヘテ居ルノデゴザイマ
ス、然ルニ能ク政府委員ノ答辯說明ヲ求メマシテ、能ク調査ヲ致シテ見マ

スレバ、是ハ競争入札ニ付シテアルノデゴザイマス、唯規則ニ依ッテ十四日間
ト云フ間ヲ經ナカッタト云フダケデ、數日間ノ廣告ヲシテ居ルト云フモノデ
アルガ、會計検査院ハ之ニ批難ヲ加ヘタ、ナゼ數日間ニシテ是ニ定期ノ
日子、即チ二週間ノ廣告ヲシナイカト問ヒマスレバ、是ハ家畜拂下代、即
チ廢馬、即チ陸軍ノ馬デゴザイマス、廢馬ヲ十四日間モ食ハシテ置ケバ、誠
ニ無駄ナ費ガ多、此費ヲ省クニハ已ムヲ得ズ、數日ノ廣告ニ止メテ、二週
間ハ廣告ヲシナカッタ、斯ウ云フ事柄デ、如何ニモ其事業ヲ認ムルニ足ルモ
ノガアル、尤モ此代價等ニ附イテモ、會計検査院ノ批難ハアリマスガ、是ハ
豫定ガ安カッタ、實際競賣ノ結果、高ク賣レタト云フコトガ、批難ノ點デゴザ
イマス、是ハ如何ニモ澤山ナ人ガ寄ッテ、入札ヲシタ結果、高クナッタ
デゴザイマス、其細カイ一頭々々當リノ所ハゴザイマス、是ハ餘
リ必要ガナイト思ヒマス、此處ニ省キマス、次ハ第六款海軍所管ノ水
雷敷設船「マインボート」是ハ隨意契約ヲ以テ、購入シテゴザイマス、是ガ
如キモノ勿論批難ヲ加ヘテアルモノデゴザイマス、是ハ特種品ニアラズ、
特種品デアルト云フ所ニ、議論ハアルノデゴザイマス、是等ハドウモ特種品
ト認メザルヲ得ナイモノ、斯ウ云フ事柄ニ認メマシテ、批難ヲ加ヘナイト云
フモノニアラズ、デゴザイマス、陸軍所管經常歳出ノ大阪城練兵場修繕費、
斯ウ云フモノガ、又會計検査院ガ批難ヲシテ居リマス、是モ能ク調査ヲ致シ
マスレバ、二十二年ニ之ヲ購入シテ居ル、ソレヲ此三十二年度ニ於テ土盛
リ——土ノ均シヲ附ケタ、斯ウ云フモノ止ルモノデ、ドウモ不當ナモノトハ
認メナイ、斯ウ云フ事柄デ、之ニ批難ヲ加ヘナイ、三十五項デ遞信所管ノ
電信用真棒及種紙代購入等ノモノガ、是レ亦隨意契約ニナッテ居リマス、
是ハ一般競争ニ付シ決シテ妨ガナイデナイカト云フ、會計検査院ノ批難デ
ゴザイマス、段々審議ヲ致シマス、是モ特種品ト見ザルヲ得ナイ、廉價ヲ見
出シマシタカラ、已ムヲ得ザルノ結果ト見マシテ、是モ亦批難ヲ加ヘナイト云
フモノニアラズ、居リマス、尙ホ其批難ヲ加ヘマシタル、會計検査院報告ノ通
加ヘマシタル部分デ、大ニ分科會本會ニ於テモ議論モアリ、十分政府ニ說明
ヲ求メマシタ中デ、會計検査院ノ報告ニ同意ヲ表シ、是ガ最モ批難スベキモノ
ト認メマシタモノ、部分ノ重ナルモノヲ、此處デ述べマス、陸軍ノ部分
デ、尙ホ陸軍ノミデハゴザイマセヌ、他ニモゴザイマス、虛構、詐欺、詐
取等ノ件ガ往々ゴザイマス、是等ハ悉ク陸軍ハ陸軍ノ刑法ニ依リ、一般官
吏ハ一般ノ懲戒令ニ依リ、悉ク處分ガ濟ンデ居リマス、是ハ其細則ニ至
テハ、茲ニ述べルノ必要モ、亦ナイト考ヘマス、茲ニハ述べマセヌ、
又司法省ノ高松地方裁判所外八箇所ノ新營費ト、斯ウ云フモノガゴザイマ
ス、是ハ豫算ニ要求ガナイ、豫算ニ要求ノナイモノデ、新營ヲシテ居ル
ト云フモノデゴザイマス、是レ亦相當司法省所管ノ政府委員ヨリ、説明モ
聽キ、十分審査ヲ盡シ、討議モ盡シマシタ其結果デゴザイマス、是ハ批難
ヲ加フベキモノト云フ部分ニナッテ居リマス、百十項ノ遞信所管ノ部分、風
水害ノ修繕費、斯ウ云フ目ヨリ官舎ノ室内裝飾ニ用井ルト云フヤウナ事柄
ガ、出來テ居リマス、是等モ不當ナリト認メテ、批難ヲ加フベキモノニアラ
ズ、居リマス、官有物ノ一項デ、内務省所管熊本練兵場敷地ヲ民有地ト、交換
ヲシタモノガゴザイマス、是等ノモノモ、十分是ハ是ハ事實ニ涉ッテ、分科會

本會ニ於テモ審查ヲ致シマシタ、政府委員ノ辯明モ細ニ聽取リ、是ニハ又參
考書類モ澤山ゴザイマス、是ハ事實ニ於キマシテハ、氣ノ毒ナル場合ハ見
ナイデハナイガ、ドウモ規則ニ於テハ、是等ハ赦スコトガ出來ナイ、已ムヲ
得ズト見マシテ、是ハ矢張批難ヲ加フベキモノ、中ニ這入ッテ居リマス、特
別會計經常部ノ一項臺灣總督府豫算ニ、目的外ト云フモノガゴザイマス、是
モ批難ヲ加フベキモノニナッテ居リマス、特別會計臨時部ノ十一項、是モ
臺灣總督府ノ部分デ、年度違ヒノ性質ニ係ルモノガゴザイマス、是等モ批難
ヲ加フベキモノニ、這入ッテ居リマス、云フヤウナコトデゴザイマシテ、之
ヲ要シマスルニ、會計檢査院ノ批難シタル百五十三件ノ中ニ就キマシテ、四
十三件ハ、是ハ政府辯明ノ通ト致シマシテ、殘ル百十件ト云フモノハ、批難
ヲ加ヘマシテ、其他ハ徵收過不足、過去拂、拂不足等ノ廉ゴザイマスルカ
ラ、餘リ之ニ對シテ議論ハゴザイマセヌ譯デゴザイマス、大體ニ附キマシテ
ハ右様ナ事柄デ、御手許ニ報告書ガ同ッテ居リマス、又速記等ニ就キマシ
テ御了承ノコト、考ヘマスルカラ、茲ニ餘リ長ク申述べマセズニ、是ダケノ
コトヲ申述べテ置ク積デゴザイマス、尙ホ御質問ニ依リマシテハ、詳シク御
答ヲ致シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 委員長報告通……

○議長(片岡健吉君) 第一第二ヲ一括シテ議題ニ供シマス、委員長報告通御
異議ハアリマセヌカ

明治三十二年年度歲入歲出總決算
明治三十二年度各特別會計歲入歲出決算

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長報告通決シマス、議事日程ノ
第三軍人恩給法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長報告、井上源衛君

第三 軍人恩給法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長
報告)

(井上源衛君演壇ニ登ル)

○井上源衛君(二十七番) 軍人恩給法中改正法律案ノ、委員會ノ經過及結果
ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ昨日成規ノ手續ヲ履ミマシテ、引續イテ本議
ニ掛リマシテ、大體ニ附イテ政府委員ノ説明ヲ請ヒマシテ、尙ホ質問審議ヲ
遂ゲマシタ、此改正ヲ要スル趣旨ハ、二十七條ノ一項ニ在ルノデゴザイマシ
テ、現行法ニ依リマス、此一項二項ガ同一條文ニナッテ居ルノデゴザイマ
ス、ソレ故ニ改正ヲ要シマス、此一項二項ノ此第一項二項ト分ケル次第
デアリマス、現行法ハ五號表ト六號表ト二樣ニナッテ居リマス、改正ノ
方デハ五號表ト致シマシテ、甲乙丙ノ三種ニ區別スルコトニ相成リマシタ
デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシ
テ、

○恆松隆慶君(二百二十四番) 是ハ讀會省略デ確定ナランコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ讀會ヲ省略致シマス——委員長ノ報
告通、御異議ハアリマセヌカ

軍人恩給法中改正法律案
確定議
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通決シマス、議事日程
ノ第四權限裁判法案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第四 權限裁判法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

權限裁判法

第一章 總則

第一條 行政廳若クハ行政裁判所ト通常裁判所ト間又ハ行政廳ト行政裁
判所ト間ニ於ケル權限爭議ハ本法ノ規定ニ依リ權限裁判所之ヲ裁判ス

第二條 權限裁判所ノ裁判ヲ經タル事件ニ關シテハ更ニ權限爭議ヲ提起ス
ルコトヲ得ス但適法ノ手續ニ依リサル爲メ權限爭議ヲ棄却セラレタル場
合ニ於テ更ニ適法ノ手續ニ依リ權限爭議ヲ提起スルハ此限ニ在ラス

第二章 權限裁判所ノ構成

第三條 權限裁判所ニ十一名ノ權限裁判官ヲ置ク

權限裁判官ニ相應ナル員數ノ書記ヲ置ク

第四條 權限裁判官中一名ハ親任トシ其他ハ勅任トス

親任權限裁判官ハ樞密院議長、副議長及ヒ樞密顧問官中ヨリ、勅任權限裁
判官ハ五名ハ大審院ニ在職スル判事、三名ハ專任行政裁判官、二名ハ高等
行政官中ヨリ之ニ兼任ス

權限裁判官ハ年齢滿三十歲以上ニシテ滿五年以上高等文官ノ職ニ在リタ
ル者ニ非サレハ之ニ任セラレコトヲ得ス但帝國大學法科大學教授ヲ除
ク外特別任用ノ規程ニ依リ任用セラレタル高等行政官ノ在職年數ハ本項
ノ在職年數ニ算入セス

書記ハ判任トス

第五條 權限裁判官ハ自己ノ願ニ依リ又ハ懲戒ノ處分ニ依リ其官ヲ免セラ
ル場合ヲ除ク外其任命ノ時ニ於テ在職シタル本官ノ職ニ在ル間在職ス
ルモノトス

權限裁判官ノ懲戒ハ各本官ノ懲戒ニ關スル規程ニ依ル但懲罰ハ譴責及ヒ
免官トス

本官ノ職務ヲ停止セラレタルトキハ權限裁判官ノ職務モ其間停止セラレ
ルモノトス

第六條 權限裁判所ニ長官ヲ置ク

長官ハ親任權限裁判官ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 長官ハ權限裁判所ノ事務ヲ總理シ其分配ヲ定メ職員ヲ監督ス

長官故障アルトキハ上席權限裁判官其職務ヲ代理ス

第八條 權限裁判所ノ裁判ハ裁判長ヲ併セテ七名以上ノ權限裁判官ノ列席
合議ヲ以テ之ヲ爲シ長官ヲ以テ裁判長トス長官列席セサルトキハ列席者
中上席者ヲ以テ裁判長トス

決議ニ加ハルハキ人員ハ奇數ニ限リ且裁判長ヲ除ク外半數ハ判事ヨリ兼
任スル權限裁判官ニシテ半數ハ行政裁判官若クハ高等行政官ヨリ兼任ス
ル權限裁判官タルコトヲ要ス

權限裁判官中關席者アル爲メ列席人員前項ノ規定ニ適合セサルトキハ其

之ニ適合スルニ至ルマテ抽籤ヲ以テ決議ヨリ除クヘキ者ヲ定ムヘシ

第九條 權限裁判所ノ評議ハ秘密トス

決議ハ過半数ノ意見ニ依ル
列席者ハ前條第三項ノ場合ニ當ル者ヲ除ク外決議スヘキ問題ニ付キ自己ノ意見ヲ表スルコトヲ拒ムコトヲ得ス

第十條 權限爭議ノ原因タル訴訟ニ付キ判事又ハ行政裁判官カ法律ノ規定ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラルヘキ場合ニ該當スル權限裁判官ハ其事件ニ關スル權限爭議ノ裁判ニ付キ職務ノ執行ヨリ除斥セラルモノトス
除斥ノ原因ノ有無ハ權限裁判所之ヲ決議ス但關係權限裁判官ハ決議ニ加ハルコトヲ得ス

本條第一項又ハ第二項但書ニ依リ第八條第一項及ヒ第二項ノ規定ニ適合スルコト能ハサル場合ヲ生シタルトキハ内閣總理大臣ハ大審院ニ在職スル判事又ハ行政裁判官若クハ高等行政官ニシテ第四條第三項ノ資格アル者ノ中ヨリ必要ナル員數ノ臨時列席者ヲ命スヘシ

第十一條 權限裁判所ノ處務規程ハ本法ニ規定アルモノヲ除ク外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章 權限爭議

第十二條 行政廳ハ通常裁判所ニ繫屬スル訴訟カ行政裁判所ノ裁判又ハ行政廳ノ處分若クハ裁決ニ屬スヘキ事件ニシテ通常裁判所ノ權限ニ屬スヘキモノニ非スト認ムルトキ及ヒ行政裁判所ニ繫屬スル訴訟カ行政廳ノ處分若クハ裁決ニ屬スヘキ事件ニシテ行政裁判所ノ權限ニ屬スヘキモノニ非スト認ムルトキハ權限爭議ヲ提起スルコトヲ得

第十三條 前條ノ權限爭議ハ内閣總理大臣、各省大臣又ハ上級地方行政廳ノ外之ヲ提起スルコトヲ得ス

第十四條 行政廳若クハ行政裁判所ト通常裁判所ト交互ニ同一事件カ他ノ權限ニ屬スヘキモノナリトノ理由ニ基ツキ終審ノ裁判若クハ裁決ニ由リ訴訟ヲ棄却シ又ハ申請若クハ訴願ヲ却下シタル場合ニ於テ其事件孰レカノ權限ニ屬スヘキトキハ當事者ハ最後ノ裁判若クハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ權限爭議ヲ提起スルコトヲ得

第十五條 權限爭議ハ理由ヲ附シタル權限裁判請求書ヲ以テ之ヲ提起スヘシ

前項ノ文書ハ事件ノ繫屬スル通常裁判所又ハ行政裁判所ヲ經由シテ之ヲ權限裁判所ニ差出スヘシ但前條ニ依リ權限爭議ヲ提起スル場合ニハ最後ニ訴訟ヲ棄却シタル通常裁判所ヲ經由スヘシ

第十六條 通常裁判所又ハ行政裁判所カ前條第二項ニ依リ權限裁判請求書ヲ受ケタルトキハ權限爭議ノ判決ノ送達又ハ取下ノ通知書ノ送達アルマテ判決ヲ爲スコトヲ得ス

本案ノ裁判假ニ執行スルコトヲ得ヘキモノナルトキハ通常裁判所ハ前項ノ場合ニ於テ強制執行ノ一時ノ停止ヲ命スヘシ此裁判ニ對シテハ不服ヲ

申立ルコトヲ得ス

第十七條 通常裁判所又ハ行政裁判所ニ於テ第十五條第二項ニ依リ權限裁判請求書ヲ受ケタルトキハ權限爭議ノ提起者ヲ除ク外訴訟當事者ニ其謄本ヲ送達スヘシ

權限裁判請求書ニハ前項ノ送達ヲ爲ス爲メ必要ナル謄本ヲ添附スヘシ
第十八條 訴訟當事者ハ前條ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ權限爭議ニ關スル意見書ヲ前條第一項ノ通常裁判所又ハ行政裁判所ニ差出スコトヲ得

前項ノ意見書ヲ受ケタルトキハ通常裁判所又ハ行政裁判所ハ權限爭議ノ提起者及ヒ訴訟ノ相手方ニ其謄本ヲ送達スヘシ
訴訟當事者カ意見書ヲ差出ストキハ前項ノ送達ヲ爲ス爲メ必要ナル謄本ヲ添附スヘシ

第十九條 通常裁判所又ハ行政裁判所ハ訴訟當事者ノ意見書ヲ受ケタル後又ハ訴訟當事者中意見書ヲ差出ササル者アルトキハ前條第一項ノ期間經過シタル後七日以内ニ其意見ヲ附シテ一切ノ關係書類ヲ權限裁判所ニ送付スヘシ

權限裁判所ニ於テ前項ノ書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ内閣總理大臣ニ其旨ヲ通知スヘシ

第二十條 主務大臣ハ權限爭議ニ關シ意見書ヲ權限裁判所ニ差出スコトヲ得

第二十一條 權限爭議ヲ提起シタル者ハ判決前何時ニテモ權限裁判所ニ文書ヲ差出シテ權限爭議ヲ取下クルコトヲ得

權限裁判所ハ取下ノ申立ヲ受ケタルトキハ事件ノ繫屬スル通常裁判所又ハ行政裁判所ニ、第十四條ノ權限爭議ニ關シテハ最後ニ訴訟ヲ棄却シタル通常裁判所ニ取下ノ通知書ヲ送達シ且内閣總理大臣ニ取下アリタル旨ヲ通知スヘシ

通常裁判所又ハ行政裁判所カ前項ノ送達ヲ受ケタルトキハ權限爭議ノ提起者ヲ除ク外訴訟當事者ニ取下ノ通知書ヲ送達スヘシ

第四章 判決

第二十二條 判決ハ文書ヲ以テシ理由ヲ附スヘシ

第二十三條 權限爭議カ本法ニ依リ權限爭議ヲ許ササル場合ニ係ルカ又ハ其提起カ適法ノ手續ニ依ラサルトキハ權限裁判所ハ審理ノ如何ナル程度ニ在ルヲ問ハズ判決ヲ以テ權限爭議ヲ棄却スヘシ

前項ノ場合ヲ除ク外權限裁判所ハ行政廳若クハ行政裁判所ト通常裁判所トノ間ニ於ケル權限爭議ニ付テハ事件カ通常裁判所ノ權限ニ屬スルヤ否ヲ判決シ行政廳ト行政裁判所トノ間ニ於ケル權限爭議ニ付テハ行政裁判所ノ權限ニ屬スルヤ否ヲ判決スヘシ

第二十四條 權限裁判所ノ判決ハ其事件ニ付キ關係ノ通常裁判所、行政裁判所及ヒ行政廳ヲ羈束ス

第二十五條 權限裁判所ニ於テ通常裁判所若クハ行政裁判所ニ繫屬スル事件其權限ニ屬セスト判決シタルトキハ訴訟ハ棄却セラレタルモノトシ其判決ニ牴觸スル通常裁判所又ハ行政裁判所ノ裁判ハ總テ效力ヲ失フ

前項ノ場合ニ於テ事件ノ繫屬スル通常裁判所若クハ行政裁判所ハ訴訟費用ノ負擔ノミニ付キ裁判ヲ爲スヘシ

第二十六條 權限裁判所ニ於テ第十二條ノ權限爭議ヲ棄却シ又ハ通常裁判所ニ繫屬スル事件其權限ニ屬セスト判決シタルトキハ通常裁判所ハ第十六條第二項ニ依ル停止ノ裁判ヲ取消スヘシ

前項ノ規定ハ權限爭議ノ取下ノ場合ニモ之ヲ適用ス

第二十七條 權限裁判所ニ於テ第十四條ノ權限爭議ニ由リ事件カ通常裁判所ノ權限ニ屬セスト判決シタルトキハ訴訟ヲ棄却シタル通常裁判所ノ裁判ハ總テ效力ヲ失フ通常裁判所ノ權限ニ屬セスト判決シタルトキハ訴訟ヲ棄却シ又ハ申請若クハ訴訟ヲ却下シタル行政裁判所ノ裁判及ヒ行政廳ノ裁決ハ總テ效力ヲ失フ

前項ノ場合ニ於テ權限裁判所ハ棄却ノ判決ヲ爲シタル最初ノ通常裁判所若クハ行政裁判所又ハ最初ニ却下ノ裁決ヲ爲シタル行政廳ニ其事件ヲ移送スヘシ但通常裁判所又ハ行政廳中權限ヲ認メタル判決又ハ裁決ヲ爲シタルモノアルトキハ其上級裁判所又ハ直近上級行政廳ニ、若シ二以上ノ行政廳ニ於テ權限ヲ認メタル裁決ヲ爲シタルトキハ最後ニ其裁決ヲ爲シタル行政廳ノ直近上級廳ニ移送スヘシ

第二十八條 判決ノ正本ハ權限爭議ノ提起者、訴訟當事者竝ニ第十二條ノ權限爭議ニ關シテハ事件ノ繫屬スル通常裁判所又ハ行政裁判所ニ、第十四條ノ權限爭議ニ關シテハ事件ノ最後ニ繫屬シタル通常裁判所及ヒ最後ニ裁決又ハ判決ヲ爲シタル行政廳又ハ行政裁判所ニ送達スヘシ

第五章 補則

第二十九條 通常裁判所又ハ行政裁判所カ本法ニ依リ爲スヘキ送達ハ各裁判所ノ訴訟手續ニ關スル規定ニ依ル

權限裁判所カ本法ニ依リ爲スヘキ送達ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第六章 附則

第三十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 本法施行前ヨリ通常裁判所又ハ行政裁判所ニ繫屬スル事件ニ關シテモ本法ニ依リ權限爭議ヲ提起スルコトヲ得

本法施行前裁判又ハ裁決確定シタル事件ニ關シテハ第十四條ニ依リ權限爭議ヲ提起スルコトヲ得ス

(政府委員東京帝國大學法科大學教授法學博士一木喜德郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(一木喜德郎君) 唯今日程ニ上テ居リマスル權限裁判法案ノ提出ノ理由ヲ、簡短ニ一言致シマス、權限裁判ノコトハ御承知ノ如クニ、現行ノ行政裁判法中ニモ、一二ノ箇條ヲ設ケテ居リマスルノデ、權限裁判ハ別ニ法律ヲ以テ、權限裁判所ヲ設置シテ、其裁判所ヲシテ裁判セシムルト云フコトニナツテ居リマス、併シ權限裁判所ヲ別ニ設ケラレマスル間ハ、樞密院ニ於キマシテ、權限爭議ヲ決スルト云フ規定ガアリマスルケレドモ、其手續ハ之ヲ勅令ニ讓ツテゴザイマスルノデ、然ルニ今日ニ至リマスルマデ、マダ其手續規定モゴザイマセヌタメニ、權限裁判ヲスルノ途ガナイコトニナツテ居リマスル、ソレデ行政裁判法ヲ實施致シマシテ以來、時々司法裁判所ト行政トノ間ニ於キマシテ、權限ノ爭ヲ生ジタコトガゴザイマスルケレドモ、唯今申スガ如キ有様ニナツテ居リマシタノデ、之ヲ採決スルノ手續ガナイノデゴザリマス、其時ニ或ハ勅令ヲ發シタラ宜カラウト云フヤウナ、詮議モアリマシタノデアリマスガ、固ヨリ法律ヲ以テ權限裁判所ヲ設ケマスルコトガ、法律ノ豫期シテ居ル所デアリマスカラ、寧ロ法律ヲ出シテ、正式ノ權限裁判所ヲ組織シタラ宜カラウト云フコトデ、今回權限裁判法ヲ提出致シマシタ次第デゴザリマス、尙ホ詳細ナルコトハ、委員會ニ於テ述べマスルコトニ致シマス、此會期切迫ノトキニ、甚ダ恐縮デゴザリマスガ、何卒御賛成下サルコトヲ希望致シマス、尙ホ附加ヘテ申シマスガ、此案ニ對シテ貴族院ニ於キマシテ、二三修正ヲ加ヘテ居リマスガ、此修正ハ趣意ニ於テ變リハアリマセヌカラ、是ハ政府ハ同意ヲ致シテ居リマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程第五ニ移リマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ……

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(二百二十四番) 委員ハ議長カラ指名シテ、直チニ審査ヲ希望致シマス、會期ハ明日限デアリマスカラ……

○議長(片岡健吉君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス——報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

委員ヲ指定スルコト左ノ如シ

權限裁判法案

神藤 才一君 丸山嵯峨一郎君 新井 章吾君

石黒 涵一郎君 宮崎 榮治君 山田 喜之助君

木村 格之輔君 鹽路彦右衛門君 島田 三郎君

○議長(片岡健吉君) 今指名ヲ致シマシタ委員諸君ハ、直チニ委員長理事ノ互選アラントラ希望致シマス、議事日程ノ第六市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案、貴衆兩院ノ協議會ノ成案デアリマス

第六 市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案(本院提出、兩院協議會成案)

(長谷場純孝君演壇ニ登ル)

○長谷場純孝君(二百一十二番) 市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案ハ、昨日午後一時ヨリ兩院ノ協議會ヲ開キマシタ、其結果ヲ御報告致シマス、規則ニ依テ、第一ニ議長ノ抽籤ヲ行ヒマシタ所ガ、本員ガ當選ヲ致シマシタ、ソレカラ種々討論ノ結果トシテ、十二對スル九、即チ一名ノ差ヲ以テ、貴族院決議案ノ通、此通決シマシタ、其理由ノ概要ヲ御報告致シマス、此案ハ田口君ガ提出サレマシテ、本院ニ於キマシテハ特別委員ヲ選ビ、又本院ノ議場ニ於テモ、最モ鄭重ニ審査ヲ爲シ、議論ヲ盡サレマシタ結果トシテ、彼ガ如キ修正ヲ加ヘテ、貴族院ニ送付ニナリマシタ所ガ、貴族院ノ意見ハ、本院ノ意見ト少シク違ヒマシテ、貴族院カラ更ニ本院ニ回付サレマシテ、昨日協議會ヲ開キマシタ所ガ、其要領ハ既ニ業ニ委員會若クハ本院ニ於テ、審議熟論ヲ盡サレマシタコトデゴザイマスカラ、諸君モ飽クマデ御承知ノコトデゴザイマスルガ、概要ヲ摘ンデ申シマスルト、貴族院ニ於キマシテハ、本院ノ委員會ノ修正ヲ採用サレタ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ採決ハ元ト規則ニ依ッテ、無記名投票デゴザイマスカラシテ、何レガ贊否ヲ何レニ表シタト云フコトハ、明ニ分リマセヌケレドモ、本院カラ選出サレテ本院ヲ代表シテ出タ所ノ諸君ハ、本院ノ議ヲ飽クマデ至當ナリト主張サル、如キ、有様デアッタ、又貴族院カラ選出サレテ、貴族院ヲ代表シテ出ラレタ協議員諸君ハ、貴族院ノ議決ヲ正當ナリトシテ、主張サレタ傾ニ見エタノデゴザイマス、要スルニ種々ナ議論モゴザイマシタガ、市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案ハ、衆議院ニ於ケル委員會ノ修正ガ、貴族院ニ於テ最モ適當デアラウト、今日ノ場合種々ナ弊害モ生ジテ居ルカラ、之ヲ其弊害ノ甚シクナラナイ前ニ先立ッテ、豫防シナケレバナラナイ、議論ヲ概括シマスレバ、此ノ如キ要點デアッタノデゴザイマス、然ルニ衆議院側ノ議論ハ、ソレハ我帝國ノ一部ニ限ラ著ケタ議論デアラウト、全國各府縣ノ各市町村ニ普ク眼ヲ著ケテ、能ク審査シタナラバ、大ニ其反對ノ事實ハ現レツ、アル、且ツ此ノ如キ法案ヲ今議決スルニ及ンデハ、唯今ノ弊害ヨリモ此法律ノ結果トシテ、我市町村自治制ノ上ニ惡弊ヲ助長スルデアラウト(「ヒヤ、」ト呼フ者アリ)ト云フコトガ、即チ其要旨デアッタノデゴザイマスノミナラズ、此法案ハ形式ノ上ニ於テモ、甚ダ其當ヲ失シテ居ルト云フ議論モ出タノデゴザイマス、即チ衆議院ノ決議ノ通ニ致シマスレバ、形式ノ上ニ於テ其當ヲ失シテ居ナイガ、若シ貴族院ノ決議ノ通ニ、之ヲ修正ヲ加ヘズシテ、協議會ニ決定ヲスルトスレバ、御承知ノ通、協議會ノ修正案、即チ成案ニ對シテハ、兩院共ニ修正ヲ加ヘルコトガ出來ナイ、シテ見ルト形式上ニ、甚ダ不都合ヲ生ズルト云フコトガ出來タノデゴザイマス、ソレハ何デアアルカト申シマス、衆議院カラ回シタモノハ、即チ「市町村ノタメニ請負ヲ爲シ若クハ市町村ノタメニ云々」ト斯ウアルノデゴザイマス、

然ルニ貴族院デ可決シタモノハ、即チ第一項ニ「市町村ハ現金ノ出納及保管ノタメニ内務大臣ノ定ムル所ニ依リ金庫ヲ設ケ云々」トアルノデゴザイマス、然ルニ此標題ハ法律案ノ標題ハ如何デアアルカト申シマス、市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案、斯ウナッテ居ルノデゴザイマス、若シ之ヲ假ニ貴族院ノ決議通りニ決定ヲスルトシマシタナラバ、此第一條ハ此標題ハ甚ダ釣合ハヌ、所謂形式ガ備ラヌ法律案ニナルノデアアル、是非此通スルトスレバ、市町村ノ財務並ニ市町村會議員及名譽職參事會員ト、斯ノ如ク入レナケレバナラナイ筈デアアル、是ハ恐ラクハ貴族院ノ見落デアッタカ、或ハ過デアアルト云フコトハ、斷定シテ憚ラヌコトデアラウト思フノデアアル、何故ナレバ貴族院ガ——彼ノ諸君ニ於テ昨日全ク衆議院ノ委員會ノ決議通ニ、是ハ修正シタカラト云フコトヲ發議サレテ居ル、然ルニ衆議院ノ委員會ニ於テハ、如何デアアルカト取調ベテ見マス、成ル程此委員長タル神藤君ガ、活版ニ附シテ最初ニ出サレタモノハ、此標題ヲ訂正シテゴザイマセヌ、併ナガラ去月二十六日ノ此速記錄ニ、其事ハ委員長ノ神藤君ヨリ、明ニ報告シテアルノデゴザイマス、即チ衆議院ノ委員會ハ斯ウ云フコトニナッテ居ル、其時ノ委員長ノ報告ヲ、一旦朗讀致シテ置キマス、前略「其修正通委員會ハ滿場一致ヲ以テ通過ヲ致シマシタ、併ナガラ其活版後ニ修正ノ標題ガ少シ訂正セラレマシタ故ニソレヲチヨット朗讀致シテ置キマス、ソレハ此處ニ括弧ガアッテ「市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案」ト云フノ又括弧ガアッテ「市町村ノ職務並ニ市町村會議員及名譽職市參事會員ニ關スル法律案」ト括弧、斯ウ云フ訂正ニナリマシタ故ニ是ダケヲ私ハ報告シテ置キマス」ト云フコトヲ、明ニ報告ニナッテ居ルノデゴザイマス、即チ是ハ昨日協議會ニ於キマシタ所ノ、議論ノ要點デアリマス、所ガ昨日ハ此衆議院ノ採決ヲ主張サル、ニモ拘ラズシテ、此標題ヲ訂正スルト云フ議論ハドチラモ出ナカッタノデアアル、斯ウ云フ發議ハアッタケレドモ、之ニ標ヲ訂正スルト云フ議論ハナクテ、貴族院カラ公然ト衆議院ニ回付サレタ此案ヲ主張サレタノデゴザイマス、ソレカラ其間ニ於キマシテ、十名ノ協議員ノ中ヨリ少數ノ議員ヲ選ンデ協議シタイト云フ、一ノ動議ガ出マシタケレドモ、ソレハ贊成者ガ少數デゴザイマシテ、少數ノタメニ遂ニ此動議ハ、提出者ヨリ撤回致サレマシタ、故ニ直ニ議論ノ末、採決スルト云フコトニナリマシタガ、前申ス通十二對スル九、即チ一票ノ差ヲ以テ先刻御報告致シタ通ニ、衆議院ノ決議通ト云フコトニ、協議會ダケハ決シマシタ、此段御報告ヲ致シマス(「貴族院、決議ダ」ト呼フ者アリ)貴族院ノ修正デゴザイマス、若シ衆議院ト申シマシタラ、私ノ誤デ、貴族院ノ修正ト云フコトニ、昨日ハ一票ノ差ヲ次テ成立チマシタ(此時長谷場純孝君議長ニ向ッテ何事カ私語ス)——是ヨリ私ハ議長ノ許可ヲ得テ、私ノ意見ヲ一言致シマス、既ニ兩院協議會ノ議長トシテ、先刻其概要ハ御報告致シマシタ通ノ理由デゴザイマス、故ニ私ハ縱シ假ニ一步ニ讓ッテ、貴族院ノ決議通ニシヤウトシテモ、法律ノ形式上最早不備ナルモノデアアル、今

申シマシタ通即チ「市町村ハ現金ノ出納及保管ノ爲内務大臣ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトヲ此處ニ記載スルト致シマシタナラバ、必ズ其標題ニ於テモ「市町村ノ財務並ニ市町村會議員及名譽職參事會議員云々」ト訂正シナケレバナラヌ筈デアル、此表題ヲ此儘ニシテ、貴族院ノ決議通爲サウト云フコトニ於テハ、形式ノ上ニ於テモ甚ダ不備デアルト云フコトハ、明ナルコトデア、況ヤソレハ唯形式上ノコト、致シマシテモ、此案ノ實體ニ於キマシテ、私共ハ帝國ノ全府縣ノ各市町村ニ限ラ配テ、其實地ヲ調査シマスレバ、甚ダ此案ハ不適當ナルモノト信ズルノデゴザリマス、故ニ本員ハ前ニ本院ガ決議シタ所ノ趣旨ヲ主張致シマシテ、兩院協議案ノ決議ニ反對ノ意ヲ表明致シマス

〔贊成々々〕ト呼ビ又「採決」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ採決ヲ致シマス、兩院協議會ノ成案ニ不同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〔少數々々〕ト「多數々々」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 異議ノ申立ニ定規ノ贊成ガアリマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガナイト認メマス——議事日程ノ第七民法中改正法律案、第一讀會ノ續、委員長報告——天野若園君

第七 民法中改正法律案(安部并磐根君 第一讀會ノ續(委員長報告))

〔天野若園君演壇ニ登ル〕

○議長(片岡健吉君) チヨット此際ニ御諮リラスルコトガアリマス、委員長根本正君カラ、普通教育教科書中憲政ノ要旨ヲ編入ノ建議案、此委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス

○天野若園君(百十三番) 諸君、私ハ此民法改正案委員會ノ結果ヲ、御報告致シマスガ、本案ノ委員會ハ一昨日開會致シテ、委員長理事ノ互選ニ引續キ、質問及討論ヲ致シマシテ、遂ニ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、其理由ハ我民法中ノ親族編相續編ノ中ニハ、往々我國體ノ倫理ニ背反スルノ箇條ガアリマシテ、本員等ニ於テハ多年此改正ノ必要ヲ熱望シテ居リマシタガ、其中本案ノ如キハ最モ主ナルモノデゴザリマシテ、一日モ看過スベカラザルモノデアリマスルカラ、此委員會ニ於テモ、誰一人反對ノ意見ヲ有スル者ハアリマセナシタデゴザリマス、然ルニ此案ニ附イテ、政府委員ハ一昨々日本會ニ於テハ反對デアル、ナゼナラバ本案第二項ノ但書ハ、九百五十四條ノ規

定ガアルカラ無用デアル、第三項ノ但書ヲ加フルナラバ、七百五十四條ニモ但書ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ説デゴザリマシタ、然ルニ本員ガ考ヘル所デハ、此七百七十九條ハ戸主ノ命ヲ用ヒザルモノニ對シテ、懲罰的ニ扶養義務ヲ免ラシメタ、即チ制裁ヲ加ヘタモノデアアルカラ、九百五十四條ニ規定シタル、扶養ノ義務ヲ免レシメタモノト、解釋シナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ若シ一步ヲ譲リ、政府委員ノ説ノ如ク、此七百四十九條第二項ノ免除ハ、九百五十四條ニ及サヌトシテモ、九百五十四條ハ單ニ血族間相互ノ扶養義務ヲ規定シタモノデゴザリマシテ、本條トハ其趣旨異ニスルモノデアリマス、本條ハ我邦古來ノ習慣トシテ、最モ家督相續ヲ重ズル其戸主ガ、家族ニ對シテ懲罰的ノ制裁ヲ加ヘルモノデアリマス、然ルニ其懲罰的制裁ハ、我子ヤ弟等ノ卑屬ニ對スルトキハ、或ハ尤ナルベキモ、父ヤ母等ノ尊屬ニ對シテ、之ヲ行フハ、我忠孝ヲ以テ人道ノ大本トシマスル、我國柄ニ於テハ、最モ不都合デアラウト思ヒマスルデ、此但書ヲ加ヘタノデゴザリマス、又第三項ノ但書ニ於テハ、最モ甚シキコト、考ヘマスカラ、之ヲ加ヘタモノデアリマス、其故ハ若シ父ガ隱居ヲ致シマシテ、其子ガ戸主ト爲テ居ル、其戸主ノ定メタ所ノ期間中ニ、戸主ノ命ニ從テ轉居センケレバ、即チ親ヲ離籍スルト云フノデゴザリマス、實ニ我親子ノ分トシテ、斯様ナコトハ爲スニ忍ビザル事柄ト、吾々ハ思ヒマス、斯ノ如キコトヲ我帝國ノ、忠孝ヲ以テ國體トスル法文中ニ加ヘテ置クノハ、甚ダ我國體ノ倫理ヲ汚スモノデアルト、吾々ハ考ヘマス、ウコデ此但書ヲ加ヘテ、直系尊屬ニ對シテ云々ト挿入シタモノデゴザリマス、又此項ニ附キマシテ、政府委員ハ本項ニ但書ヲ加ヘレバ、次ノ七百五十條ニ但書ヲ加ヘネバナラヌト云フコトヲ、申サレマシタガ、ウレハ加ヘテモ宜シイ、吾々ハ此忠孝ト云フ、固ヨリ意志サヘ通貫スレバ、ドウデモ宜シイノデアリマス、併ナガラ本條ハ七百五十條トハ、又趣旨異ニシマスカラ、殊更ニ煩ハシク之ヲ加フル必要ハナイト考ヘマス、最モ委員會ニ於キマシテハ、重キヲ法文ノ完備ト否トニ置カズ、單ニ我國國民タル道徳上、忍ブベカラザル事柄トシテ、本案ヲ可決致シマシタ、ドウゾ本會ニ於テモ、重キヲ道徳上ニ置カレマシテ、法文ノ修正等ハ第二次會ニ適宜ニナシテ、滿場一致ヲ以テ御贊成アラフコトヲ希望致シマス

○望月長夫君(二百四十二番) 私ハ本案ニ附イテ、先決問題ヲ提出致シタイ、即チ本案ノ議事ヲ延期スベシト、先決問題ヲ提出致シタイ、本案提出ノ趣意ハ、過日ノ安部并磐根君ノ演説ナリ、今日委員長ノ報告ニ依ッテ其精神ヲ窺フコトガ出來ルノデゴザリマス、此精神ハ何人モ異議ナシトデアラウト、私モ考ヘマス、サリナガラ民法典ノ改正トシテ、斯ノ如キ法條ヲ議決スルコトハ、甚ダ輕率デアラウト思フ、殊ニ委員會ノ速記録ナルモノモ讀シテ見マシタガ、實ハ全ク審查サレズシテ、議決サレテ居ル、ソレデ此儘ニ議決致シマスナラ、否決スルヨリ致方ノナイト云フヤウナ、運命ニ際會シヤウト思ヒマスルケレドモ、サレバトテ委員長ナリ又提出者ナリノ理由ノ中ニハ、民

法ガ殆ド子ガ親ヲ久離勘當スルコトガ出來ル法條ノ如クニ、説明ヲサレテ居ル、サウシテ本會ニ於テ、此改正ヲ否決スルコト云フコトニナレバ、世ノ分ラヌ者ハ、或ハ親ヲ久離勘當シテモ宜シト云フ誤解ヲ、惹起スト云フ恐モアル、ソレデ愈々直サウトスレバ、委員會ガサウ云フ始末デアリマスカラ、正當ニ申スト、再付託說ヲ提出スルガ穩當デアリマスケレドモ、會期切迫ノ際、更ニ委員ニ再付託ト云フコトモ、實ハ其結果ニ於テ、無益ノ手數ニナラウト考ヘマス、故ニ私ハ本案ノ議事ハ延期ヲスル、即チ本議會ニ於テハ可否ヲ決シナイト云フ意味ニ於テ、本日ハ此議事ヲ延期セラレンコトヲ……

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス、望月長夫君ノ延期說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、議事日程第八鐵道列車災害豫防法案、第一讀會ノ續、委員長ノ報告——内藤守三君

第八 鐵道列車災害豫防法案(菅野善右衛門君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

内藤守三君演壇ニ登ル

○内藤守三君(百五十番) 鐵道列車災害豫防法案コノ委員會ノ結果ヲ、御報告シテ置キマスル、本案ハ災害豫防トアリマシテ、題目上一見必要ナリト認メラレマスケレドモ、此取締法ハ鐵道營業法私設鐵道施行法規、鐵道故障ニ關スル規定、運輸又ハ進行ニ關スル規定ト云フヤウナ、現行法ガアリマス、勵行サヘスレバ此取締ニ於テハ、差支ハナイヤウニナツテ居リマスル、傍政府ニ於キマシテハ、時勢ノ進化變遷ニ伴ッテ、是等ノ豫防改良ノ必要ヲ感シテ、目下調査シツ、アルト云フコトデアリマスル、旁々本案ハ法律トシテ未ダ以テ完全ノ體裁ヲ缺イテ居リマスヤウナコトデアリマスルデ、是ハ十分取調ガ附キマシタ上デ、更ニ完全ナ規則ヲ制定スルニ若カズ、此ノ如キ理由ヲ以テ、遂ニ否決致シマシタ

(菅野善右衛門君演壇ニ登ル)

○菅野善右衛門君(三十番) 極簡短ニ申上ゲマス、唯今委員長ノ報告ニ據リマス、此案ハ敢テ必要デハナイケレドモ、不完全デアルト云フ如クニ、報道サレテゴザイマスガ、不完全ナラバ宜シク取捨斟酌シテ、修正シテ施行セラレンコトヲ望ムノデゴザイマス、然ルニ他ニモ規則ガアル、他ノ規則ヲシテ勵行スレバ、此災害ヲ豫防スルコトガ得ルト云フ、御説明モゴザイマシタガ、他ノ規則ハ是ト異ルノデゴザイマス、是ハ既ニ達セラレマスル所ノ、種々ノ規定ヲ網羅シテ、之ヲ法律トシテ勵行サレンコトヲ、望ムノデアリマス、諸君、如何デゴザイマスカ、人命ヲ重シマスル、家屋財産ヲ重シマスル場合デゴザイマスレバ、斯様ナ法律ヲ設ケテ、災害ヲ豫防スルト云フコトハ、

勿論ノコトデアラウト思フノデゴザイマス、併ナガラ今日ノ場合ヲシテ、成立シテ兩院ヲ通過セシムルコトハ、固ヨリ爲シ得ザルコトデアリマスカラ、已ムヲ得ナイノデハゴザイマスガ、宜シク之ヲ審査シテ、他日成立セシメラレンコトヲ、深く望ムノデゴザイマス、其故ニ參考トシテ、十六通調ヲシテゴザイマスカラ、之ヲ速記録ニ載セテ置イテ、宜シク攷究サレンコトヲ望ムノデアリマス

○花井卓藏君(二百八十三番) 極簡短ニ意見ヲ述ベテ置キタイノデアアル、唯今委員長ノ報告ハ、餘リ寛大ニ失シテ居ルノデアアル、濃厚ナル内藤君ノ口ヲ藉リテ、如何ニモ寛大ナル報告ガアッタノデアアル、本案ハ第一ニハ何レノ部分ガ、法律ニ屬シテ居ルカト云フ事柄ガ、條文ノ上ニ於テ分ラヌ、第二ニ於テハ、命令ヲ以テ規定セラルベキ趣旨ノモノガ、此法律案ノ中ニ含まレテ居ル條項モ尠カラヌ、第三ニハ汽車ノ揭示板ニ掲グベキ種類ノモノガ、此法案ニ含ツテ居ルノモ、又多クアルヤウニ考ヘテ居ル、故ニ審査委員ニ於キマシテハ、職員ヲ重シテ修正ヲシヤウト欲シテモ、實ハ手ノ著ケラレナイ案ダラウト考ヘル、此ノ如キコトハ將來ニ法案提出ノ惡例ニモナリマスルカラ、斷然此場合ニ否決スルガ宜カラウ、菅野君ニハ私ハ敬服致シマスルガ、此案ハ將來ノタメ——菅野君ヲ惡ムノデハナイ、他日ノ殷鑑ニ供サンガタメニ、滿場一致ヲ以テ否決ヲシタイト云フ、私ハ希望デ……

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、唯今決議ニナリマシタル案ハ、即チ第二讀會ヲ開カザルコトニナリマシタガ、提出者カラノ請求デ、澤山ナル參考書ヲ速記録ニ載セタイト云フ請求ガアリマシタガ、是ハ載セザルコトニ致シテ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 然ラバ載セナイコトニ致シマス、議事日程ノ第九銀行資本金制限ニ關スル建議案、委員長ノ報告、安川繁成君

第九 銀行資本金制限ニ關スル建議案(西村眞太郎君外七名提出) (委員長報告)

(安川繁成君演壇ニ登ル)

○安川繁成君(九十二番) 銀行資本金制限ニ關スル建議案ノ、特別委員會ノ結果ヲ報告致シマス、本建議案ノ生シマシタノハ、昨年政府ガ銀行創立ノ資本金額制限ヲ、五十萬圓以上ト制限致サレテ、各府縣知事ニ訓令ヲサレタ趣デゴザイマス、所ガ地方ニ依リマシテハ、五十萬圓以上ノ銀行ヲ創立スルト云フコトガ、必要ガナイタメニ、セナイノモアリマスガ、如何ニモ此資本金額ノ制限ノ程度ガ高イタメニ、各商業會議所、大阪モ或ハ京都、神戸、東京ニ於キマシテ、皆不同意ヲ唱ヘテ居リマスルサウデゴザイマス、ソレ故ニ本員ハ此

建議案ヲ提出サレマシタノデ、二十万以上ト限定スルト云フコトニ定メテ、此案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、ツレ故ニ特別委員會ニ於キマシテモ、政府委員ニ質問致シマシテ、五十万圓ハ餘リヒドイデハナイカ、二十万圓位ガ相當デアラウト思フカラ、政府ハドウデアアルカ、若シ政府ガ同意サレルト云フコトデアレバ、特別委員會ニ於キマシテモ、幾ラカ讓歩致シテモ宜カラウガ、先ヅ政府ノ意向ヲト云フコトデ、政府委員ニ尋ネマシタ、政府委員ハ五十万圓ニ限定致シマシテ、追々其整理シツ、アルカラ、ドウゾ之ヲ其方針ヲ變ヘタクナイ、斯ウ云フ答辯デゴザイマス、ソコデ特別委員會ニ於キマシテモ、段々評議ノ結果、然ラバ已ムヲ得ヌカラ、委員會ハ修正ヲシテ議スルト、斯ウ云フコトニシテ、元ト二十万圓ト限定ヲ致シテ、建議致スト云フコトハ、御承知ノ通此商法ニハ金額ノ限定ハナイノデゴザイマス、ツレヲ限定シテ建議スルト云フコトモ、衆議院トシテ、之ヲ出メコトハ面白クナイニ依ッテ、政府ガ飽クマデ五十万ノ限定ヲ變更スルコトガ、出来ヌト云フコトデアレバ、衆議院ハ之ヲ修正シテ出サウト云フコトニナリマシテ、此報告ニ載ッテ居リマスル所ノ、此修正ニナリマシタノデゴザイマス、ツレガ此修正ハ、チヨット簡單デゴザイマスカラ、朗讀致シマスルガ「現今政府カ一般ニ銀行創立資本金ヲ五十万圓以上ニ制限スルノ方針ヲ訓示シタルハ殆ト銀行新設ヲ禁止スルノミナラス、法ノ精神ヲ没却スルモノナリ」(報告書ガ回ッテ居リマス「ト呼フ者アリ」)ケレドモチヨットヤラウト思ヒマス、「因テ政府ハ資本金ノ制限ヲ解キ地方ノ狀況ヲ參酌シ是ヲ許否スルノ方針ヲ取ルヘシ」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシタ

○西村淳藏君(二百四十一番) チヨット質問ヲ致シマスガ、政府ハ同意致シマシタカ

○安川繁成君(九十二番) 政府ハ同意ヲ致シマセヌ、ソコデドウモ衆議院ガ出シマス云フコトニ附キマシテハ、此限定ヲ致スト云フコトハ、法律ニ少シ其嫌ガアリマスルカラ、ツレデ制限ヲ取ルト云フコトニ、唯今朗讀致シマシタヤウニ 此段御報告致シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 是ハ修正ガ誠ニ適當デアリマス、地方ハ斯ウナラケレバナラヌト云ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員會ノ報告ニ附イテ採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、委員長ノ報告通決シマス、議事日程ノ第十太麻頒布ニ關スル建議案、委員長報告、福島一造君

第十 太麻頒布ニ關スル建議案(福島一造君提 (委員長報告))

(福島一造君演壇ニ登ル)

○福島一造君(八十五番) 私ハ太麻頒布ニ關スル建議案ノ特別審査會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此件ニ附キマシテハ、一昨日來兩回委員會ヲ開キ

マシテ、段々此案ノ趣旨ニ附イテ、政府委員ニ質問ヲ致シマシタ、尙ホ且提出者ノ意見モ十分參考致シマシタガ、大體此案ニ附キマシテハ、伊勢大廟ヨリ頒布スル所ノ太麻ハ、此頒布ノ件ニ附キマシテ、目今神宮奉齋會ト云フモノガ、之ヲ殆ト請負事業ノヤウナ有様ヲ爲シテ、頒布所ト特約ヲシテ、大分莫大ノ利益ヲ得テ居ルサウデゴザイマス、ツレノミナラズ、此頒布ノコトニ附キマシテハ、詰リ一般ノ商品同様ニ、價ヲ高クシタリ、或ハ或ル地方ニ於テハ恰モ押賣同様ノヤウナ弊害ガアツテ、甚ダ大廟ノ神威ヲ尊敬スルニ於テ、一大缺點デアラウト云フ考デゴザイマシテ、即チ本案ヲ提出シタ所以デアアルノデゴザイマス、ツレデ段々政府委員ニ依ッテ、此弊害アルコトヲ矯正スル法ガナイカ否ヤト云フコトヲ、質問致シマシタガ、是ニ就キマシテハ多少ノ弊害アルコトヲ認メテ居ル、既ニ昨年ノ如キモ山口縣地方ニ於テ、大分多數ノ金額ヲ徵收シタト云フ弊害ハ認メテアルガ、併ナガラ是ニハ多少ノ沿革ノアルコトデアツテ、今直チニ之ヲ改良シ矯正スルト云フコトハ、ドウモ同意ガ出来兼ルト云フ風ナ意見デゴザイマシテ、殊ニ國庫支辨ノ上ニ附イテモ、政府ハ餘リ金ガナイカラ、判然同意スルト云フコトハ申シマセヌ、併シ此神廟ヨリ發スル所ノ太麻ニ對シテ、不敬若クハ不都合ナ點ガアルナラバ、之ヲ矯正スル途ニ於テハ、十分行政權ヲ以テ監督モシ、若クハ之ヲ改良スルト云フコトモ、客ナラヌシナケレバナラヌコトデアアル、併シ政府ニ於テハ左程トハ認メナイカラ、サウ云フ弊害ガアルナラバ、斷然是ハ處置シナケレバナラヌト云フ、御答デゴザイマシタ、段々審議ノ結果、諸君ノ御手許ヘ同シテ置クガ如ク、即チ本建議案ニ修正ヲ加ヘマシテ、全會一致ヲ以テ修正ノ如ク可決致シマシテゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○西村淳藏君(二百四十一番) 議長

○議長(片岡健吉君) 西村淳藏君、質問デスカ

○西村淳藏君(二百四十一番) 反對デス

○議長(片岡健吉君) 反對ナラバ、通告ガアリマス

○大瀧傳十郎君(十八番) 委員長ニ質問致シマスガ、是ハ國庫支辨ニスルト云フコトニナルト、隨分國家ノ財源ニ關係スル譯デアリマスガ、何十万圓程ノ費用ガアツタナラバ、是ハ國庫支辨ニ出來マスカ

○福島一造君(八十五番) 御答ヲ致シマスガ、何十万圓ト云フヤウナ多額ナモノデナイノデス、僅ニ太麻製造費ト、及之ヲ遞送致シマス費用ヲ籠メテ、三万圓内外四万圓アレバ、十分足ヤウト云フ考デアリマス

○大瀧傳十郎君(十八番) 尙御問シマス、製造費ハ成程二三万圓デ宜イカ知レマセヌガ、之ヲ全國ニ頒布スルト云フコトニナリマス、隨分費用ガモツト掛ラウト思ヒマス

○福島一造君(八十五番) 先ヅ製造費デ申シマス云フト、二万圓内外ノ金ガアレバ、出来ヤウト思フ、概算デハゴザイマスルガ、又是ニ遞送費ヲ加ヘテ見デカラガ、如何ニ多額ニ見積ッテモ、五万圓ヲ超過スルトハナカラウ

ト思フ、是ハ概算デゴザイマス

○大瀧傳十郎君(十八番) 政府委員ニ御問ヒ致シマス——内務省及大藏省ノ政府委員ニ御同致シマスガ、此建議案ハ唯今申シマシタ通、全體此太麻頒布ノコトハ、以前内務省ガ一遍此事ヲ行ヒマシテ、甚ダ其成績ガ好クナカッタト云フコトハ、聞イテ居リマスガ、果シテ此建議案ガ成立ッタナラバ、内務省ハ之ヲ行ル、積リデアリマスルカ否ヤ、且ツ又國家ノ財政ニ關係スルコトデゴザイマスカラ、此建議案ガ若シモ成立ッタナラバ、大藏省ハ此費用ヲ支出出来ルモノデアリマスルカ否ヤ、此二點ヲ政府委員ニ御問致シマス

(政府委員内務總務長官山縣伊三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(山縣伊三郎君) 御答致シマス、本案ニハ政府ハ反對シテ居リマス、ト申シマスルノハ、御承知ノ通太麻ノ頒布ハ、種々ノ沿革上、又奉齋會ヲシテ之ヲ行ハシムルコトニナッテ居リマスル、ソレカラ財政ノ上ニ就イテモ、是ニハ不同意ト云フコトヲ、大藏省ノ方デ申シテ居リマスカラ、是ダケノコトヲ申シテ置キマス

○大瀧傳十郎君(十八番) 段々政府委員ノ説明ヲ聞イテ見マシテモ、到底此建議案ハ行フコトガ出来ナイノミナラズ、吾々ハ此建議案ニ對シテ、反對ヲ表スルモノデゴザイマス、何トナレバ、此奉齋會ガ是マデ此太麻ヲ頒布スルト云フコトハ我國體ノ上カラ、又種々ナル此緣故ノ上カラ、奉齋會ガ是ヲ頒布スルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスノミナラズ、斯ノ如キ至尊ニ關係スルコトハ、輕々ニ此議場ニ於テ議スベキ問題デゴザイマス、故ニ私ハ反對スルノデゴザイマスノミナラズ、大藏省ハ目下ノ財政、連モ此國庫支辨ニ出来ナイト云フコトデゴザイマシテ、政府ハ大藏省モ内務省モ何レモ反對デゴザイマスルノデゴザイマス、ドウカ諸君モ反對ノ意志ヲ表セラレンコトヲ、望ムノデアリマス

○早川龍介君(二百三十七番) 本員モ亦大瀧君ニ同意デ、斯ル多年ノ慣行ヲ以テセラレテ居ルコトデアアルノニ是ヲ殊更ニ今日斯様ナコトヲスルト云フノハ、甚ダ宜シクナイ、若シ此事ニ附イテ不都合ナコトガアリマシタナラバ、行政監督者ヲシテ十分其監督ヲ嚴ナラシムルコトハ、固ヨリ希望スルコトデアリマス、數百年千年以上ノ慣例ヲシテ、斯ノ如ク變更セシムルコトハ、甚ダ宜シクナイト考ヘマス、矢張り大瀧君ニ同意デアリマス

○山内吉郎兵衛君(百三十七番) 私ハ此建議案ニ贊成スル一人デアアル、抑、或ル反對論者ハ、國體ノ上ヨリ斯様ナコトハ、決行スベキモノデナイト云フコトヲ申シマスガ、國體ノ上カラコソ、斯様ニ建議案ノ如ク致サナケレバナラヌト云フ理由ガアルノデアアル、抑、皇太神宮ハ、即チ吾々ノ太祖ノ神デハゴザイマセヌカ、其太祖ノ神ヲ、即チ例ヘテ申シマスレバ位牌デアアル、吾々ガ祖先ノ位牌ヲ請負ヲスル如ク、値段ノ高下ヲ以テ之ヲ頒布スルト云フコトハ、抑、道理ニ適ッテ居ラヌコトデアラウト思フ、之ヲ國費ヲ以テ人民ニ頒布ヲスルト云フコトハ、即チ我邦ノ國體上、是ハ爲スベキコトデナカラウト思フ、ナゼナレバ我國ノ國體ト致シテハ、皇太神宮ヲ奉戴スルト云フコトニ附イテ

ハ、異議ヲ申スコトハ出来ナイモ、ダラウト思フ、又第二ノ經濟上ノコトト云フ御議論モゴザイマスガ、經濟上ノコトハ、ソレハ一ヲ知ッテ二ヲ知ラヌ所ノ議論デ、大藏省ガ反對ヲスルトカ、政府ガ反對ヲスルトカ云ッテ、其鼻息ヲ窺ッテ、之ヲ否決スルト云フコトハ、抑、イカヌト思フ、何トナレバ奉齋會ガ人民ヨリ徵收シマス金額ハ二十二万有餘圓デアアル、製造費ハ製造費其他ノ手數料ヲ掛ケマシテ、五万圓以内デアルト云フコトデアアル、然ラバ十六萬餘圓ノ金ト云フモノハ、奉齋會ガ私ヲシテ、奉齋會ガ即チ口ヲ糊スルニ止ッテ居ルノデアアル、況ヤ奉齋會ハ民法三十四條ノ即チ一ノ法人トシテ、組織シテ居ル、然ルニ奉齋會ナルモノハ、何ヲスルカト言ッテ見レバ、唯今委員長ノ報告ノ如ク此太麻ヲシテ押賣ヲシ、或ハ偽造ヲシ是ヲ賣賣ヲシ、即チ昨年ノ太麻ヲ以テ今年ノ太麻トスル如キ、斯様ナル行作ヲ爲シテ居ルノデアアル、法人トシテ此明文ニ在ル所ノ、規則ニ在ル所ノ行爲ヲ爲シテ居ラヌノデアアル、斯ノ如ク經濟上カラ考ヘテ見マシテモ、人民カラ徵收ヲスルト云フコトハ、國庫デ出スモ、直接ニ出スモ、同ジコトデアッテ一方デハ四萬圓以外、一方デハ二十二萬圓ト云フ徵收ヲセラレテモ、即チ經濟上ノ議論ガ立ッ立タナイカト云フコトハ、今更議論ヲスルト云フ必要ハナイト思フ、殊ニ此事件ニ附イテハ、新聞紙上ニ喋々ヲ致シテ居ル通、醜聞ガ澤山アル所ノ議案デアアル、若シ此議案ガ否決ヲスル曉ニハ、衆議院ノ體面ニモ關係スルコトガ、續々現レテ來ルカモ知レヌ、是ハ即チ私ハ衆議院ノ體面ニ甚ダ、悲ム所デゴザイマスカラ、此議案ハ多數ヲ以テ、決議アラムコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 採決ヲシヤウト思ヒマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 今山内君ノ演説ノ中ニ、太麻ハ位牌ノ如キモノダト云フコトガゴザイマシタガ、ア、云フ言語ダケハ不敬ニ當ルカラ、ドウカ御取消ニナランコトヲ望ミマス

○山内吉郎兵衛君(百三十七番) 位牌ト云フ言葉ハ取消シマス、例ニ話ヲシタノデ

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○高須賀鑲君(十三番) 政府委員ニ御尋シマスガ、太麻ト云フモノハ、一ノ何カ規定ガアッテ、之ヲ頒布シナケレバナラヌコトニナッテ居リマスガ、或ハ從來ノ慣習ニ依ッテ頒布ヲスルト云フコトニナッテ居リマスガ、其邊ヲ伺ヒタ

(政府委員内務總務長官山縣伊三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(山縣伊三郎君) 御答致シマス、前ニ申述ベマシタ通、沿革上奉齋會デ之ヲ頒布スルコトニナッテ居リマス

○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、初ニ委員會ノ修正說ニ附イテ採決致シマス、委員會ノ修正說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス——次ハ原案ニ附イテ採決致シマス、

原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 ナシ

○議長(片岡健吉君) 起立者ナシト認メマス、議事日程ノ第十一ニ出テ居リマス建議案ハ、提出者カラ延期ヲ申出テ居リマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ決シマス、議事日程ノ第十二電報直配達區域擴張ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、星野甚右衛門君

第十二 電報直配達區域擴張ニ關スル建議案(星野甚右衛門君)

外四名提出)

明治三十三年九月遞信省令第四十六號電報規則第八十一條中陸上一里以內トアルヲ二里以內ニ改正スルノ必要ヲ認ム依テ政府ハ速ニ之ヲ改正施行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(星野甚右衛門君演壇ニ登ル)

○星野甚右衛門君(百二十四番) 本案ハ御覽ノ通、極ク簡單ナ案デゴザイマス、簡短ニ提出ノ理由ヲ説明致シ置キマス、本案ハ明治三十三年九月遞信省令第四十六號電報規則、第四十六號電報規則第七章電報配達第八十一條ノ改正ヲシタイト云フノ精神デアルノデゴザイマス、是マデ電信局ノ電信ノ直配達ハ、陸上一里以內及其所在地ヲ以テ、通例直配達ノ區域ト爲テ居ルノデゴザイマス、即チ一里以內ヲ以テ電報直配達ノ區域ト爲テ居ルノデゴザイマス、然ル處ガ交通機關ノ日々發達ヲシテ參リマシテ、完備ヲ告ゲマスル今日ニ當リマシテ、郵便上ニ附キマシテハ、殆ド遺憾ノナイヤウナコトニ、立至ッテ居リマスケレドモ、電信ニ至リマシテハ、一里以外ノ所ニ於テハ、直配達ヲ受ケルコトガ出來ナイノデアリマス、一里以內ト一里以外ノ、僅ノ間ニ於キマシテ、大ニ其利益ヲ受ケル所ニ、公平不公平ガアルノデゴザイマス、殊ニ今日地方ノ狀況ヲ見マスルト、三里或ハ四里離レマスレバ、電信局ノ設置ノナイ所ハナイヤウニナッテ居リマス、山間ノ地ヲ除イテハ——サウスルト、之ヲ一里以內ヲ改メテ、二里以內ト致シマシタナラバ、殆ド電報ノ直配達ノ利益ヲ受ケヌ所ノモノガ、殘リノナイヤウナコトニナルデアラウト思フノデゴザイマス、都會ノ地ニ於キマシテハ、別ニ其苦痛ヲ感ゼヌノデゴザイマスケレドモ、地方ニ居リマスルト、此問題ハ僅カ一里ヲ二里ト改正スルト云フ趣意デゴザイマスガ、其影響スル所非常ニ大キナルモノデアラウト思フデアリマス、因テハドウカ一里以內ヲ、二里以內ノ地ヲ配達區域ニ致スト云フ建議ノ趣旨デゴザイマス、交通機關ノ日々發達ヲ致シテ參リマスル場合ニ於キマシテ、諸君十分御贊成ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○永井嘉六郎君(二百七十八番) 私ハ此建議案ニ贊成ヲ表スルモノデゴザイマスケレドモ、一里以內トアルノヲ二里以內ト致シマスルト、國庫ノ經濟ニ於キマシテドノ位ノ費用ヲ要シマス、御尋致シマス

○星野甚右衛門君(百二十四番) 其邊ハ十分調査シテ居ラヌノデアリマスカラ、其邊ノ都合ニ於キマシテハ、調査委員ヲ選ンデ、御調査ニナッテ宜カラウト思ヒマス

○永井嘉六郎君(二百七十八番) 其邊ノ御調査ハアリマセヌカ

○星野甚右衛門君(百二十四番) 其經濟ノ點ニ附イテハ、十分調査シテ居リマセヌ

○恆松隆慶君(二百二十四番) 此案ハ最モ贊成デゴザイマスガ、政府委員ニ於テ二里マデデハイケナイ、一里半位デ宜イト云フヤウニ、ヤカマシク言フカモ知レマセヌカラ、之ヲ委員ニ付託シテ、而シテ明日議事ヲ開イテ極メラ

○議長(片岡健吉君) 委員付託ノ動議ガ出マシタガ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員付託ニ致シマス

○多田作兵衛君(二十番) 直チニ委員ノ指定ヲ請ヒマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 委員ヲ直チニ指名致シマス

委員ヲ指定スル左ノ如シ

電報直配達區域擴張ニ關スル建議案

井上 信八君 和泉 邦彦君 本間 直君
横山 通英君 星野甚右衛門君 菅野善右衛門君
岡田 龍松君 星野助左衛門君 松島 廉作君

○議長(片岡健吉君) 唯今指名致シマシタ委員ノ諸君ハ、第十二委員會室ヘ直チニ御集會ヲ爲ス、委員長理事ノ選舉ヲセラレ、引續イテ審査セラレント希望致シマス——議事日程ノ第十三第二期鐵道豫定線路中比較線路調査ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、——武石敬治君

第十三 第二期鐵道豫定線路中比較線路調査ニ關スル建議案

(武石敬治君提出)

鐵道敷設法第二條第二期鐵道豫定線路中

一巖手縣下黑澤尻若ハ花卷ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道

右線路ニ對シ左ノ三線路比較調査アラムコトヲ望ム

一巖手縣下水澤ヨリ秋田縣下稻庭、駒形、増田ヲ經テ十文字ニ至ル線路

一巖手縣下花卷ヨリ秋田縣下六郷ニ至ル線路

一巖手縣下盛岡ヨリ秋田縣下角館、長野ヲ經テ大曲ニ經ル線路

右建議ス

〔武石敬治君演壇ニ登ル〕

○武石敬治君(七十五番) 極テ簡短ニ本案提出ノ理由ヲ述ベマス、此本案ノ理由書ニ載セテアリマスル通、鐵道敷設法第二條、第二期鐵道豫定線路中、巖手縣下黒澤尻若ハ花巻ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道ト云フノガ、規定セラレテアリマスガ、之ニ對シテ三線路ノ比較調査ヲ希望スルノデアリマス、此敷設法制定ノ際ニ於テハ、三線路中、巖手縣盛岡ヨリ大曲ニ至ル線路ハ、縣道デアリマシタケレドモ、車ノ通行モイカスノデアリマシタ、其他ノ二線路ハ里道デアリマシテ、馬ノ通行サヘモ難澁ナヤウナ有様デアリマシテ、其當時十分ニ比較シタ上ニ、決定セラレタモノデハナイト思フノデアリマス、然ルニ秋田縣會ニ於キマシテ、明治三十四年度ヨリシテ、多額ノ金ヲ投シテ、繼續事業トシテ三線路共ニ開鑿ニ著手シタデアリマス、而シテ此四線路ニ對シテ鐵道線路トシテノ便利ト云フモノハ、容易ニ斷定スルコトガ出來ヌノデアリマスカラ、幸ニ此年度ニ於キマシテ、政府ハ鐵道調査費ト云フモノヲ置カレタノデアリマスカラ、宜シク四線路調査ノ上、確定スルコトヲ望ムノデアリマス、甚ダ會期切迫ノ場合デ諸君ヲ煩ハスノハ恐入リマスガ、何卒審議セラレテ、御賛成アラントヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 是ハドウカ委員付託ニセズ、即決アラントヲ希望致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○福島一造君(八十五番) 私ハ大體分リマシタケレドモ、提出者ノ御考ハ唯巖手縣バカリ、此調査ノ必要ガアツテ、其他ニ於テハ入レル必要ガナイト云フノデアリマスガ、チヨット伺ヒマス

○武石敬治君(七十五番) 必要ハナイト云フ考デゴザイマス

〔委員付託〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 委員付託ノ説ガ出マシタガ、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員ニ付託スルコトニ致シマス——直チニ委員ノ指名ヲ致シマス

〔書記朗讀〕

武石 敬治君 西谷 金藏君 山田莊左衛門君
鹽谷 五十足君 三輪 傳七君 降旗 元太郎君
福田 久松君 伊藤 直純君 佐藤 里治君

○議長(片岡健吉君) 唯今指名致シマシタ委員諸君ハ、第一委員室ニ於テ、直チニ委員長理事ノ互選ヲ爲シ、引續キ議事ヲ開カレンコトヲ望ミマス——報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

貴族院ヨリ回付セラレタル議案左ノ如シ

輸入原料砂糖戻稅法案

○議長(片岡健吉君) 明日ハ最終ノ日デアリマスカラ、日曜日ニモ拘ラズ會議ヲ開クコトニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ開會スルコトニ致シマス、開會ノ時間ハ都合ニ依ッテハ、午前十時ヨリ開會ヲスルカモ測ラレマセヌカラ、同意ヲ得テ置キマス、唯今ノ所デハ多分午後一時ヨリ開ク積デアリマス、議事日程ハ公報ヲ以テ御報スルコトニ致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後三時三十二分散會